

門真市第2期子ども・子育て支援事業計画における
各施策の実施状況について
(令和3年度)

1. 門真市第2期子ども・子育て支援事業計画における重点施策

(1) 子育てがしやすい環境のさらなる充実

このまちで子どもを産み育てたいと感じられるよう、教育・保育の質の向上や、家庭での子育てを支えるサービスの一層の充実に努めます。

■対応基本施策

- ・基本目標1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり
 - 基本施策1 質の高い幼児期の教育・保育の提供及びつながりのある教育の推進
- ・基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり
 - 基本施策1 家庭での子育てを支えるサービスの利用支援
 - 基本施策2 母子保健・医療の充実

(2) つながりのある教育の推進

子どもたちの確かな学力や健全な心身を育成するため、学校等の教育環境の一層の充実を図るとともに、地域や家庭、就学前教育・保育施設、学校間での連携を深め、子どもの発達や学びにおける連続性を確保した教育を推進します。

■対応基本施策

- ・基本目標1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり
 - 基本施策1 質の高い幼児期の教育・保育の提供及びつながりのある教育の推進
 - 基本施策2 子どもの教育環境の充実

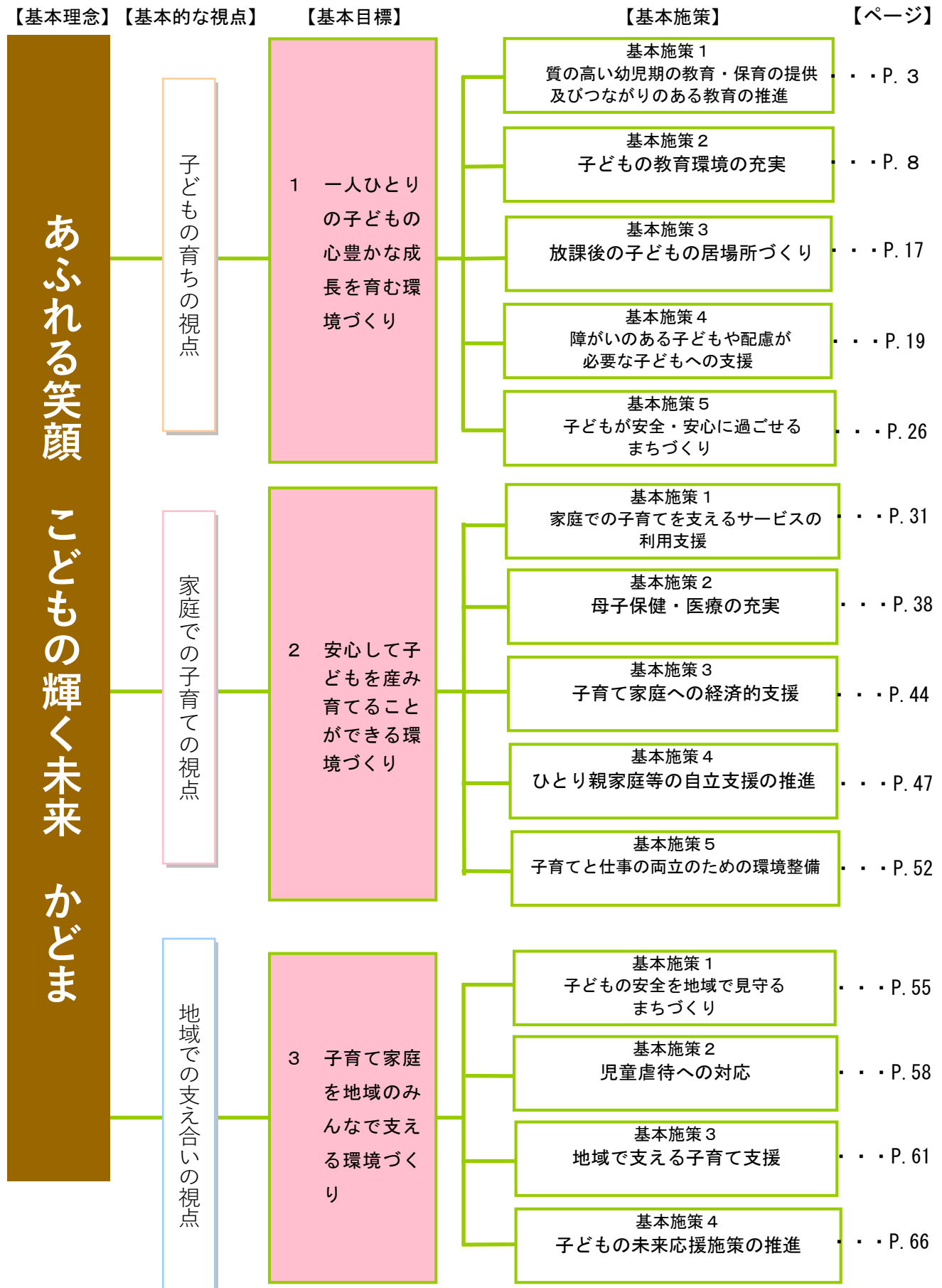
(3) 地域で子どもを見守る安全・安心のまちづくり

配慮が必要な子どもや家庭に支援が行き届き、子どもたちが巻き込まれる虐待・犯罪・事故等をできる限り未然に防ぐことができるように、子どもを真ん中において地域で子どもたちの成長を見守っていく安全・安心のまちづくりを進めます。

■対応基本施策

- ・基本目標3 子育て家庭を地域のみんなで支える環境づくり
 - 基本施策1 子どもの安全を地域で見守るまちづくり
 - 基本施策2 児童虐待への対応
 - 基本施策4 子どもの未来応援施策の推進

2. 施策の体系



基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 1 質の高い幼児期の教育・保育の提供及びつながりのある教育推進

取組施策 1 総合的な幼児教育・保育の提供

就学前教育・保育の提供

乳幼児期の子どもに対し、保育の必要性和必要量に応じた保育を提供するとともに、発達段階に応じた豊かな感性を養い基本的な生活習慣を身につけるなど人格形成の基礎を培うための総合的な幼児教育・保育の提供を行います。

保育幼稚園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

市内公私立の保育所・認定こども園及び幼稚園における就学前教育・保育の充実を図るため、各種研修会や園長会等を通して公私間の交流や連携を一層強化し、相互の保育内容を知ることにより、課題の発見等に努めた。

民間保育所等における保育環境や保育サービスの充実が図られるよう、各園の取り組みに対し、補助を実施した。

R2年度実績等

公私立保育所・認定こども園・幼稚園及び地域型保育事業の年間延べ利用者数（1号～3号）
34,147人
委託含む

評価理由・課題・改善点

本市の各施設・事業において、より一層の充実等が図られるよう、各施設間の交流や連携をさらに強化し、課題解決に努める必要がある。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

公私立保育所・認定こども園・幼稚園及び地域型保育事業の年間延べ利用者数（1号～3号）
13,702人
委託含む

今後の方向性

継続

幼児教育・保育提供体制の最適化検討

さまざまな教育・保育ニーズに対応した総合的な教育・保育を提供するため、認定こども園の普及を促進するとともに、公立施設においては、公立が担うべき役割を明確化し、認定こども園への移行等も含めた最適なあり方を検討します。

こども政策課

★令和2年度取組内容★

取組内容

門真市公立園最適化基本方針で公立園の再編方針の1つとして示した浜町保育園の廃園について、在園児の保育環境を確保しつつ、廃園に向けた調整を進めるための計画を策定した。

また、計画に沿い、令和2年度現在0歳児～3歳児クラスの在園児に対して優先的な利用調整を行うとともに、1歳児～3歳児クラスの在園児に対して転園にかかる初期費用として準備給付金を支給した。

R2年度実績等

令和2年7月に「門真市立浜町保育園の廃園に向けた調整計画」を策定
令和3年4月までに近隣の施設へ転園することを希望した児童24名中、24名が希望する施設へ転園
転園にかかる準備給付金の支給件数23件、総支給額375,301円

評価理由・課題・改善点

浜町保育園の廃園に向けた具体的な計画を策定するとともに、計画に沿って廃園に向けた調整を進めた。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

令和3年度も引き続き、門真市立浜町保育園の廃園に向けた調整計画に沿い、在園児の転園に向けた調整を行っている。
また、公立園の再編方針の1つである大和田幼稚園と上野口保育園の統合に関する具体的な取り組みを示すため、（仮称）門真市公立園最適化基本計画の策定に向けた検討を進めている。

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 1 質の高い幼児期の教育・保育の提供及びつながりのある教育推進

取組施策 1 総合的な幼児教育・保育の提供

幼児教育・保育の無償化の適正かつ円滑な実施

幼児教育・保育の無償化に係る事務を適正かつ円滑に実施するとともに、無償化に伴い実費徴収となる副食費に対して市独自で補助を行い、すべての子どもが質の高い幼児教育・保育を受けることができる環境を整えます。

保育幼稚園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

国において2号認定児の副食費が実費徴収となったことを踏まえ、本市が国に先行して進めてきた幼児教育・保育・療育の無償化事業への影響を最小限とするため、公私立保育所・認定こども園等を利用する、市在住の2号認定児について、副食費の補助を実施した。

R2年度実績等

副食費の年間延べ補助対象者数：
9,987人

評価理由・課題・改善点

2号認定児へ副食費の補助を実施したことにより、市独自に進めてきた幼児教育・保育・療育の無償化事業への影響を最小限とすることができた。

評価

A

★令和3年度取組内容★

**4月～8月
の取組**

令和3年度門真市保育所等給食費補助金として、交付申請のあった施設に対し交付決定を行い、支払いを実施している。

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 1 質の高い幼児期の教育・保育の提供及びつながりのある教育推進

取組施策 2 幼児教育・保育の質の向上

相談機能の充実

幼稚園・保育所・認定こども園等における、地域の子育て家庭に対する相談、情報発信等の機会を充実し、身近な地域での相談機能の強化を図ります。

保育幼稚園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

子育て中の親子が気軽に集い、子育てについて相談できる場を整備するとともに、遊び方のアドバイスや育児に関する情報提供を通じて、親同士、子ども同士の交流を図り、育児負担の軽減を図る。民間保育所等に対しては子育て支援事業に係る費用を補助した。

R2年度実績等

公立各園は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、電話相談及びホームページによる情報提供を実施

評価理由・課題・改善点

コロナ禍以前は園庭開放や絵本の読み聞かせ等に定期的に参加する親子が多く、入園希望の下見として見学を兼ねて来るケースや、保育士や看護師に相談・助言を求めるケース等、地域の子育て支援機関としての需要はあり、コロナ禍においても継続的な活動が必要である。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

公立各園は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ホームページで子育てについての情報を発信している。
電話相談を随時受け付けている。

今後の方向性

継続

幼稚園教諭・保育士等の資質の向上

教育・保育の質を高め、幼稚園教諭・保育士等の資質及び専門性の向上を図るための研修の受講を促進します。また、就学前の教育・保育施設を一体的にとらえ、それぞれの設置目的や理念・制度の違いを超えて、育てたい子どもの姿や育ちを共有し、就学を見据えた教育・保育を実践していきます。

保育幼稚園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

幼児教育・保育についての理解を深めるとともに、指導力の向上を図るため、幼稚園教諭・保育士等を対象に講演会や研修会を開催しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催は見送った。民間保育所等に対しては、研修に係る費用を補助した。

R2年度実績等

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、研修会の実施しなかったものの、オンラインでの研修会実施に向けた検討を行った。

評価理由・課題・改善点

公立幼稚園・保育所・認定こども園や私立幼稚園・保育所等との連携を視野に、合同研修会や講演会を実施し、就学前教育・保育の充実に向けて指導力の向上に努める。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の工夫が必要である。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

オンラインでの研修の実施に向け調整している。

今後の方向性

継続

基本目標1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策1 質の高い幼児期の教育・保育の提供及びつながりのある教育推進

取組施策2 幼児教育・保育の質の向上

教育・保育施設的环境整備

施設や子どもの安全性を確保するため、教育・保育施設の老朽化や改善点等を踏まえ、計画的な環境整備を行い、安全・安心な教育・保育の場の確保に努めます。

保育幼稚園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

旧南保育園については撤去工事に伴う周辺建物事前調査が令和2年7月30日に完了し、撤去工事が令和2年12月25日に完了し、撤去工事に伴う周辺建物事後調査が令和3年3月30日に完了した。
浜町保育園本園舎については撤去工事（事前調査及び事後調査も含む）が令和3年2月26日に完了した。

R2年度実績等

旧門真市立南保育園撤去工事に伴う周辺建物事前調査業務委託
旧門真市立南保育園撤去工事
旧門真市立南保育園撤去工事に伴う周辺建物事後調査業務委託
門真市立浜町保育園本園舎等撤去工事

評価理由・課題・改善点

撤去対象の旧南保育園及び
浜町保育園本園舎の撤去工事が完了したことにより、
環境整備をすることができたため。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月 の取組

老朽化の進行又は改善が必要な施設がないかどうか確認を行っている。今後、該当する施設があれば、環境整備を検討する予定である。

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 1 質の高い幼児期の教育・保育の提供及びつながりのある教育推進

取組施策 3 幼児教育・保育と学校との連携強化

総合的な就学前教育・保育を行うため、合同研修やさまざまな交流の場を確保し、幼稚園・保育所・認定こども園等での連携を深めます。また、小学校への円滑な接続が行えるよう、合同研修や幼稚園・保育所・認定こども園等と小学校の情報交換や課題検討等の機会を通じて相互の連携強化を図り、就学前後の途切れのない育ちの確保に努めます。

保育幼稚園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

公立幼稚園・保育所・認定こども園や私立幼稚園・保育所・認定こども園等との連携を視野に、合同研修会や講演会を実施することにより、就学前教育・保育の充実に向けて指導力の向上に努める方針であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため実施は見送った。

R2年度実績等

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、予定していた教員2年目研修の受入や合同研修会・講演会等の実施はなかったものの、オンラインでの実施に向けた検討を行った。

評価理由・課題・改善点

2年目研修（小学校教諭）は、公立幼稚園・保育所・認定こども園で園の状況を実際に見て、保育の経験をしてもらえるため、交流としては非常に意味がある。また、合同研修は、公私立共に参加者が多く、資質の向上と共に、交流の場としても有意義であることから、コロナ禍においても実施可能な体制を構築していくことが必要である。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月
の取組

オンラインでの研修の実施に向け調整している。

今後の方向性

継続

学校教育課

★令和2年度取組内容★

取組内容

新型コロナウイルス感染症の影響により、中学校区ごとの教職員が一堂に会する連携会議を開催することはできなかったが、公私立幼稚園及び小・中学校の教職員が、学びや生活の連続性について協議しながら、就学前から中学校卒業までの一貫した教育のあり方について研究に努めるよう、担当者会を実施した。

R2年度実績等

担当者会を1回開催し、キャリア教育の現状や課題についての理解を深めた。幼・小・中における学びの連続性が、子どもたちの豊かな成長に大切であることを共有し、各校において創意工夫し、実践した。

評価理由・課題・改善点

新型コロナウイルス感染症の影響で会議や研修を思うようにできない状況であったが各校の創意工夫でオンライン等を活用しながら、連携強化に努めることができたため。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月
の取組

就学前後の途切れのない子どもの育成に向けた「めざす子ども像」は作成・共有できている。今後必要に応じて見直し、それぞれの機関で一貫教育を見通した取組を実践していくことが求められる。担当者会を実施し、連続した学びの大切さについて伝える。

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 2 子どもの教育環境の充実

取組施策 1 学校教育における教育内容の充実

教育環境の充実

より落ち着いた環境でのきめ細やかな教育を行い、児童・生徒が安心して過ごせるよう、教育環境の充実に努めます。

また、学校と地域、家庭等との連携を図り、地域に根ざした特色ある学校づくりを進めます。

学校教育課

★令和2年度取組内容★

取組内容

きめ細かな教育環境づくりのために市費負担教員を小学校3校に配置した。また、新型コロナウイルス感染症対策を行うため、市内小中学校全校に学校サポートスタッフを置き、教員事務負担の軽減を図った。また、全ての学校に学校評議員を置き、地域・家庭・学校の連携を図りながら学校運営を推進した。

R2年度実績等

市費負担教員の配置により教育研究の推進を図ることができ、児童の学習環境の充実に努めることができた。また、児童の日常的な事務負担軽減及び新型コロナウイルス感染症対策実施のために学校サポートスタッフを配置したことにより、教員の事務負担が軽減され子どもと向き合う時間の確保を行うことができた。

評価理由・課題・改善点

新型コロナウイルス感染症の影響による長期の休業があり、再開後は子どもも教師も疲弊する事態となったが、市費負担教員の配置やスタッフの配置による負担軽減を図るなど、教育環境の充実に努めることができた。新型コロナウイルス感染症の終息後も教員の負担軽減を図り教育環境を充実させるために本取り組みを継続していきたい。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

市費負担教員を小学校3校に配置し、学校サポートスタッフを市内小中学校全校に配置した。また、従前の学校評議員の取組を継続するとともに、より学校と地域が連携し、教育環境の充実に努めるよう、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）設置に向け、準備を進める。

今後の方向性

継続

確かな学力の育成

教職員の指導力の向上を図り、「門真市版授業スタンダード」および「門真市版授業づくりベーシック」に基づいた、児童・生徒が主体的に参加できる授業を展開するとともに、一人ひとりに対応したきめ細かな指導方法や形態等の工夫改善を推進します。

学校教育課

★令和2年度取組内容★

取組内容

小・中学校教員を対象に授業づくり研修を実施し、授業における学びのプロセス等を示した「門真市版授業スタンダード」と、新学習指導要領に基づいた力を子どもたちに確実に身に着けるための授業づくりの指針である「門真市版授業づくりベーシック」を活用した授業づくりの支援を行った。

R2年度実績等

門真市教育委員会主催研修「各種授業づくり研修」18回実施

評価理由・課題・改善点

門真市版授業スタンダードは主体的で協働的な学びを推進し、学校の授業の改善に一定の成果があると考える。門真市版授業づくりベーシックと合わせ、活用を各校に促し、支援を図っていく。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

外部講師を招き授業づくり研修を行うとともに、教育センターの指導主事およびスクールアドバイザーが、定期的に学校訪問を行い、門真市版授業スタンダード及び門真市版授業づくりベーシックに基づいた授業づくりの支援を行った。

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 2 子どもの教育環境の充実

取組施策 1 学校教育における教育内容の充実

豊かな心の育成

生命を大切にし、他人を思いやる心や公正さを重んじる心、伝統や文化を尊重する心など、人格形成の基盤となる豊かな心を育成するため、学習指導要領に則り、特別の教科道徳において各学年の発達段階に応じた道徳教育を推進するとともに、さまざまな体験活動の一層の充実を図ります。

学校教育課

★令和2年度取組内容★

取組内容

道徳教育推進教師を中心に、学校全体として計画的・協働的な道徳教育の指導体制を構築を図った。定期的に道徳教育推進教師連絡会を開催し、各小中学校での取組や実践の交流を行い、自尊感情や規範意識を高める取組を推進した。

R2年度実績等

道徳教育推進協議会および
道徳授業づくり研修 1 回開催
全小中学校において道徳の授業研
究を実施した。

評価理由・課題・改善点

自尊感情・自己肯定感を高める取組内容の工夫を
行うとともに、系統的な道徳教育について9年間
を見通した取組を工夫し道徳の更なる充実に向け
た研究を推進している。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月 の取組

道徳教育推進教師を中心に、各学校において道徳の指導
方法の校内研究を推進し、教育課程に基づいて「特別の
教科道徳」の授業を各学校において実践し、その取組を
授業づくり研修等を通して交流を図った。

今後の方向性

継続

思春期保健対策の充実

予期しない妊娠等が増加するなか、学習指導要領に則った性に関する指導を始めとする、正しい知識の啓発につながる性教育に努めます。

また、未成年の飲酒や喫煙を防止、薬物乱用防止に関する教育の実施や知識の普及など、家庭や学校等関係機関と連携した思春期の保健対策の充実を図ります。

学校教育課

★令和2年度取組内容★

取組内容

性教育や飲酒、喫煙、薬物乱用については、関係機関と連携しながら各校に通知を行った。

R2年度実績等

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、関係
機関と連携した出前授業の実施はできなかった。

評価理由・課題・改善点

新型コロナウイルス感染症の影響
もあり、性教育は、関係機関を含
めての実施ができていない。

評価

B

★令和3年度取組内容★

4月～8月 の取組

性教育や飲酒、喫煙、薬物乱用については、関
係機関と連携しながら各校に通知を行った。

今後の方向性

継続

基本目標1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策2 子どもの教育環境の充実

取組施策1 学校教育における教育内容の充実

健康増進課

★令和2年度取組内容★

取組内容

なし

R2年度実績等

なし

評価理由・課題・改善点

性教育は、中学校からの依頼がなかったため実施できていない。今後、性や未成年の飲酒と喫煙に関する正しい知識の普及と啓発の新たな方法を検討する必要がある。

評価

C

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

なし

今後の方向性

改善 : 新たな啓発方法の検討

食育

学習指導要領及び学校において策定する「食に関する指導の全体計画」に基づき、栄養教諭による出前授業を実施するなど、児童・生徒に対する食育の推進に努めます。

学校教育課

★令和2年度取組内容★

取組内容

栄養教諭を中心とした食育出前授業や門真市学校給食選手権の実施は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施できなかったが、7月に朝ごはんレシピ集の配付を行った。朝ごはんレシピ集の配付を通して、食への関心や食を大切にする態度を育成するとともに、朝食の重要性を家庭に周知し、朝食の摂取率向上に努めた。

R2年度実績等

全ての学校において「食に関する指導の全体計画」を策定し、計画に基づいた食育の授業を行った。

評価理由・課題・改善点

食に対する価値観が大きく変化し多様化している現在、朝食を摂らないなど食生活の乱れや肥満傾向の増加、過度の痩身等の課題が見られる。「食に関する指導の全体計画」に基づき、栄養教諭等を中心に、系統的・組織的な食育の推進が必要である。

評価

B

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

6月に朝ごはんレシピ集の配付を行った。食育の授業に関する府の資料等を各校に通知した。

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 2 子どもの教育環境の充実

取組施策 1 学校教育における教育内容の充実

環境学習

学習指導要領に則った環境教育の充実に努めます。また、環境問題とリサイクルに対する意識を啓発するため、各教科や総合的な学習の時間等において、さまざまな体験活動を通じた環境学習を推進します。

学校教育課

★令和2年度取組内容★

取組内容

社会科や理科、総合的な学習の時間等において、リサイクルプラザや浄水場について学び、環境問題とリサイクルに関する学習を行った。

R2年度実績等

PTAと連携し、清掃活動やリサイクル活動を推進した。

評価理由・課題・改善点

PTAと連携した環境教育を各学校で計画的に実施することができている。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

教育課程に基づき、社会科や理科、総合的な学習の時間等において環境学習を実施できたものとする。

今後の方向性

継続

環境政策課

★令和2年度取組内容★

取組内容

環境問題とリサイクルに対する意識を啓発するため、小学生を対象にした施設見学やリサイクル工房での体験学習等を行う予定としていた。

R2年度実績等

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市内全小学校の4年生を対象とした環境学習及び市民向け環境啓発講座は中止しましたが、4年生の環境学習に使用してもらえる冊子を市内全小学校に配布した。

評価理由・課題・改善点

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、対策の検討ならびに環境整備を行い、市民が安心して受講できる環境啓発講座をめざす。

評価

B

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、本年度も環境学習及び市民向け環境啓発講座の開催が見送りとなり、環境学習副読本及びごみ処理に関するDVDを提供した。

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 2 子どもの教育環境の充実

取組施策 2 文化・スポーツなど多様な活動の推進

健やかな体の育成

子どもの体力低下傾向が進む中、さまざまな機会を通じて子どもがスポーツに積極的に触れるための機会を増やし、健康の増進や体力の向上を図る取組を進めます。また、門真市生涯スポーツ推進協議会をはじめとする各種スポーツ・レクリエーション団体と協働し、子どもを含めたスポーツの振興に努め、子どもの健やかな体の育成に努めます。

生涯学習課

★令和2年度取組内容★

取組内容

市内スポーツ・レクリエーション団体により設立された門真市生涯スポーツ推進協議会と協働にて、スポーツ・レクリエーション事業の一環として、子どもから高齢者まで誰もが参加することでき、競技力向上に資する「門真市民総合体育大会」、及びスポーツ・レクリエーション活動のきっかけづくりとしてのスポーツの祭典「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」を計画したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。また、年間を通してスポーツ教室等を実施し健康づくり及び体力づくりへの興味及び関心を高める取り組みをした。

R2年度実績等

(門真市スポーツレクリエーション事業)
門真市民総合体育大会
参加者数 0人
(かどま市スポーツ・レクリエーション
フェスティバル2020)
参加者数 0人
(スポーツ教室等)
参加者数 115人

評価理由・課題・改善点

門真市生涯スポーツ推進協議会に参画する各種スポーツ団体がノウハウを活かし、子どもから高齢者までが参画できるよう企画運営し、スポーツ・レクリエーション事業の一環として、「門真市民総合体育大会」、「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」のほかに、年間を通してスポーツ教室等を計画・スポーツ教室については実施したことにより、多くの市民が参加する社会体育活動の場を確保することが大切であると認識する。今後も、同協議会主催の事業だけではなく、他団体が実施するスポーツ事業とも積極的に連携し、周知を強化することで、子どもたちをはじめとした市民のスポーツ活動への参画を促す必要がある。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月 の取組

新型コロナウイルス感染症対策のため、実施方法を動画配信へ変更した(イベントは中止)。

今後の方向性

継続

基本目標1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策2 子どもの教育環境の充実

取組施策2 文化・スポーツなど多様な活動の推進

文化活動の推進

文化芸術に関する施策を総合的かつ計画的に推進する中で、まちなかでの音楽イベントや文化活動団体と学校との連携、クラブ活動の支援等の取組を通じ、子どもが文化芸術に触れる機会の充実に努めます。また、乳幼児期から親子で絵本にふれあう機会を提供するためのブックスタートに取り組むとともに、ボランティアによる絵本の読み聞かせやおはなし会、えほんのひろば、図書館見学・一日図書館員等の取組を通して、子どもが本と出会える機会と場の提供に努めます。

図書館

★令和2年度取組内容★

取組内容

ブックスタートとして、4か月児健康診査時に絵本等のプレゼントや読み聞かせを実施した。図書館利用の促進のため「おはなしのじかん」等の読み聞かせや図書館見学、一日図書館員等の取組を実施した。子どもが読書に興味を持つきっかけづくりの場として、「えほんのひろば」を開催した。

R2年度実績等

(ブックスタート)	(えほんのひろば)
絵本配布者数：644人	参加人数：174人
(読み聞かせ)	
参加人数：600人	
実施回数：110回	

評価理由・課題・改善点

読書のきっかけづくりとして、「えほんのひろば」、絵本の読みきかせ行事を実施した。引き続き、読書の大切さを啓発する事業を行うとともに、様々な機会を通して行事の周知に努める。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月 の取組

おはなしの広場スペシャルなどの読み聞かせ行事に取り組んだ。

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 2 子どもの教育環境の充実

取組施策 2 文化・スポーツなど多様な活動の推進

生涯学習課

★令和2年度取組内容★

取組内容

市立文化会館、市立公民館、市立門真市民プラザの講座・イベント情報等を掲載した情報誌「はにかむ」等を発行し、学習の情報提供に努めた。
門真市立文化会館、門真市立公民館、生涯学習センターにおいて、親子で気軽に参加できる各種講座、イベントを多数開催した。

R2年度実績等

情報誌「はにかむ」の発行
(市民プラザ)

夏休み親子手作り教室参加人数：17人

親子で英語体育スタディカビイニングリッシュ参加人数：260人

親子で楽しむクリスマスコンサート参加人数：50人

おやこ映画祭り参加人数：132人

(文化会館)

ベビーマッサージと親子遊び

参加人数：22人

(公民館)

夏休みおやこ料理参加人数：20人

評価理由・課題・改善点

ホームページや広報だけでなく、独自の情報誌「はにかむ」を発行し、学習の情報を充実させることができた。

親子で対象の講座やイベントを多数開催し、親子で楽しむことができる機会を充実させることができた。参加者を増やすべく情報発信や講座開催の時間帯等を検討する。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

市立公民館、市立門真市民プラザの指定管理者が特定非営利活動法人トイボックスに代わったため、ルミエールホール及び中塚荘のイベント情報と併せて、4月より新しく「かどまクローバーニュース」として発刊し、各施設のイベント情報や講座情報の発信媒体の統一化を図った。

今後の方向性

継続

地域政策課

★令和2年度取組内容★

取組内容

門真市自治基本条例第16条に規定する「地域会議」は、原則中学校区単位で設立される地域の課題解決に取り組む組織で、市の活動補助金の交付や子育てに関する情報提供、関係課及び各種団体との連携調整等の活動支援を行っている。設立済の各校区において「通学路における注意看板」の設置や、地域の文化に触れる機会として「文化伝承事業」等の取組みを行っている。

R2年度実績等

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、予定していた事業を中止

評価理由・課題・改善点

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業中止となった。今後の課題として、感染症拡大防止策を講じ事業の見直しが必要と考える。

評価

C

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 2 子どもの教育環境の充実

取組施策 3 「グローバル」な人材の育成

国際社会において、本市から世界に通用する「グローバル」な人材を育成するため、NETや外国語活動支援員による英語教育を推進するとともに、「めざせ世界へはばたけ事業」では、中学生英語プレゼンテーションコンテスト優秀者に対して海外派遣研修を実施するなど、実践的なコミュニケーション能力の向上に努めます。

学校教育課

★令和2年度取組内容★

取組内容

NETや外国語支援員を市内小中学校へ配置した。「めざせ世界へはばたけ事業」では、第10回中学生英語プレゼンテーションコンテストを実施した。

R2年度実績等

NET 4人、外国語教育支援員 4人を全小中学校へ、加えて小学校に英語専科指導加配教員を6名配置した。「めざせ世界へはばたけ事業」では、コロナ禍のため海外派遣研修は延期した。中学生英語プレゼンテーションコンテストの、事前研修では、英語によるプレゼンテーションのノウハウの習得を重点に置いて実施することで、生徒の実践的なコミュニケーション能力を高めたほか、英語学習に対する意欲を向上させることができた。

評価理由・課題・改善点

コロナ禍のため、海外派遣研修を延期した。

評価

B

★令和3年度取組内容★

4月～8月
の取組

実践的なコミュニケーションを図るため、全小中学校へNET 4名、加えて小学校へ英語専科加配教員を6名配置した。「めざせ世界へはばたけ事業」では第9回及び第10回の中学生英語プレゼンテーションコンテストの優秀賞受賞者に向けて、海外派遣研修代替研修を実施するため、事前研修を3回行った。

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 2 子どもの教育環境の充実

取組施策 4 青少年の健全育成

子ども悩み相談サポートチームや適応指導教室「かがやき」、不登校対策フレンドなどの積極的な活用を通して、不登校を始めとした子どもの心の問題の解決を図るとともに、関係機関との連携を密にし、一人ひとりに対応できる相談体制の充実に努めます。

また、青少年指導員や青少年育成協議会等の関係機関と連携を図り、パトロールを実施するなど、地域に根ざした少年非行対策を講じるとともに、有害サイトによる被害や有害情報環境から守るため、違法・有害な情報を選択的に排除できるフィルタリング（有害サイトアクセス制限サービス）の周知を行うなど、学校やPTA協議会等と連携し、子どもが被害に遭わないための周知・啓発に努めます。

学校教育課

★令和2年度取組内容★

取組内容

子ども悩み相談サポートチームとして、相談業務（カウンセリング等）および学校への支援活動（ケース会議への参加等）を行った。

R2年度実績等

面談による相談業務：504件
電話による相談業務：66件
ケース会議への参加：90件

評価理由・課題・改善点

相談業務（計570件）および学校への支援活動（計90件のケース会議への参加）を通して、不登校を始めとした子どもの心の問題の解決を図った。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

子ども悩み相談サポートチームや適応指導教室「かがやき」、不登校対策フレンドなどの積極的な活用を通して、不登校を始めとした子どもの心の問題の解決を図るとともに、関係機関との連携を密にし、一人ひとりに対応できる相談体制の充実に努めた。

今後の方向性

継続

生涯学習課

★令和2年度取組内容★

取組内容

少年補導活動ネットワークとして、青少年指導員が青少年の保護育成と地域力の向上を図るため、校区パトロール等を通じて街頭指導や啓発活動を行った。

R2年度実績等

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施ができなかった。

評価理由・課題・改善点

青少年指導員が青少年の保護育成と地域力の向上を図るため、校区パトロール等を通じて街頭指導や啓発活動を行った。非行・被害防止全国強化月間においては、啓発ポスターを各自治会に掲載した。少年補導活動ネットワークについては、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施ができなかった。学校側の多忙化や地域の担い手不足等により、活動の在り方について今後検討していく必要がある。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

非行・被害防止全国強化月間（7月）において、啓発ポスターを各自治会に掲載するため、各校区代表者にポスターを配布した。

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 3 放課後の子どもの居場所づくり

取組施策 1 放課後の子どもの居場所づくり

放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

市内の全小学校において放課後児童クラブを実施し、適切な遊びと生活の確保や異学年との交流を通じた集団活動を推進することにより、放課後における児童の健全育成を図ります。
また、保護者の就労形態の多様化等にもともなう「小1の壁」を打破するため、開設時間の延長を実施し、今後も待機児童の解消を図るための取組や、より良い環境での保育の提供など充実に努めます。

子育て支援課

★令和2年度取組内容★

取組内容

令和元年度に引き続き、市内全小学校において、通常開設時間は午後6時までのところ、午後7時まで延長可能とした。
年度末には、市内全小学校にパソコン端末と「情報共有システム」を導入し、緊急時の連絡や重要なお知らせを一斉送信できる環境を整え、利用者の利便性の向上に努めた。

R2年度実績等

放課後児童クラブ入会児童数：1,535人
放課後児童クラブ延長利用児童数：136人
待機児童数：0人
（令和2年4月1日現在）

評価理由・課題・改善点

令和2年4月1日時点の待機児童は発生しなかった。引き続き待機児童ゼロをめざし、受け入れ体制を確保する。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

夏場の児童の健康確保のため、小学校と同一建物の放課後児童クラブ6校について、老朽化している空調設備をリース方式で入れ替える一体的な契約を締結し、今年度に工事の調整を行い、利用者の環境の維持・向上を図った。
また、新型コロナウイルス感染症対策として、長期休暇期間の密を避けるため、学校と教室借用にかかる協議を行い、受け入れ体制の確保に努めた。

今後の方向性

継続

学校を拠点とした子どもの活動の場の提供

児童を対象に、放課後等に自習室を開設し、地域ボランティアによる学習機会の提供を行い、児童の学習習慣の定着を図ります。

生涯学習課

★令和2年度取組内容★

取組内容

まなび舎Kids事業により、市内小学校において、放課後に集まった児童に対し、企業・団体等の協力を得てさまざまな分野の体験プログラムを実施した。

R2年度実績等

実施校数：11校
年間実施回数：11回
参加児童数：113人

評価理由・課題・改善点

新型コロナウイルス感染症の影響により、1学期中は市内小学校において休校措置がとられたこと等から、2学期より、市内11の小学校で平日の放課後に、企業・団体の協力により、「手洗い教室」や「お金の大切さ」「オンライン航空教室」など、日頃授業では体験できないプログラムを実施し、多様な体験・活動の促進を図った。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

1学期中は、新型コロナウイルス感染症の影響により、体験プログラムの実施を見送った。2学期からの開催に向け、各小学校と日程調整を行っている。

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 3 放課後の子どもの居場所づくり

取組施策 1 放課後の子どもの居場所づくり

学校教育課

★令和2年度取組内容★

取組内容

市内全中学生を対象に9月～3月、2箇所の社会教育施設で、有償の地域ボランティア等の協力を得て、生徒に学習の機会の場を提供し、学習習慣の定着を図った。

R2年度実績等

実施場所：市民プラザ、文化会館
年間実施回数：それぞれ19回
登録生徒数：33人
延べ参加人数：216人

評価理由・課題・改善点

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、説明会、研修会等の実施は出来なかったが、前年度に協力いただいた有償ボランティアスタッフの協力を得て、事業実施が出来た。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

取組なし

今後の方向性

廃止：参加生徒数の減少等のため

基本目標1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策4 障がいのある子どもや配慮が必要な子どもへの支援

取組施策1 障がいの早期発見

乳幼児健康診査を通じて発達障がい等の早期発見・早期対応に努めるとともに、発達相談、こども発達支援センターや家庭児童相談センターでの相談を通じて、子どもの発達に不安を持つ保護者に対して、相談支援の充実や関係機関が連携し、支援の充実を目指します。

子育て支援課

★令和2年度取組内容★

取組内容

18歳未満の子どものいる家庭の相談に応じ、必要に応じて、子どもの面接を実施する等の支援を実施した。また、子どものもつ発達特性を保護者や所属先へ伝えることで、関わり方の理解促進に繋がるよう努めた。状況に応じて、医療機関や療育機関を紹介し、つなげた。

R2年度実績等

家庭児童相談件数：1,255件

評価理由・課題・改善点

様々な相談に対応することで、子どものへの関わり方についての理解促進を図ることができた。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

18歳未満の子どものいる家庭の相談に応じ、電話・面接・訪問による支援を実施している。また、状況に応じて、医療機関や療育機関へのつなぎを行っている。
家庭児童相談件数：886件

今後の方向性

継続

こども発達支援センター

★令和2年度取組内容★

取組内容

0歳から18歳未満の子どもの発達に不安を抱える保護者に対して、臨床心理士や教員OBが相談を受け、子どもの特性に応じた支援について助言するとともに、必要に応じて各関係機関やサービスにつなげた。

R2年度実績等

相談件数：366件

評価理由・課題・改善点

臨床心理士や教員OBが保護者からの相談を受け付け、専門的な見地から適切な子どもへの関わり方や支援策について助言することにより、保護者の安心感や子どもの安定した生活につながることができている。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

0歳から18歳未満の、子どもの発達に不安を抱える保護者に対して、臨床心理士や教員OBが相談を受け、子どもの特性に応じた支援について助言するとともに、必要に応じて各関係機関やサービスにつなげている。

今後の方向性

継続

健康増進課

★令和2年度取組内容★

取組内容

R2年度実績等

基本目標2・基本施策2・取組施策8乳幼児健康診査と同じ

評価理由・課題・改善点

乳幼児健診及び経過観察健診により、乳幼児の発達を適確に見極め、保護者の不安を軽減するとともに、引き続き必要な支援に繋げていくことが必要である。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

基本目標2・基本施策2・取組施策8乳幼児健康診査と同じ

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 4 障がいのある子どもや配慮が必要な子どもへの支援

取組施策 2 療育体制の充実

こども発達支援センターにおいて、個々の子どもに必要な支援の内容に応じて、集団療育や機能回復訓練、作業療法、言語療法等を実施し、社会的な自立を目指した療育内容の充実に努めるとともに、民間事業所を活用した療育の充実を図ります。発達障がい児に対しては、個々の発達の状況に応じた個別療育を実施します。相談会の実施や保護者同士の交流などを通して、保護者の不安や悩みを和らげるような取組も進めます。

また、就学前の児童に対して、民間事業者の活用も含め、集団療育、個別療育の提供を行うため、児童発達支援の活用及び小学校入学後の障がい児の居場所の確保や療育の提供を行うため、民間事業者の活用も含め、放課後等デイサービスの実施に努めます。

こども発達支援センター

★令和2年度取組内容★

取組内容

知的・精神・肢体に障がいのある児童の支援拠点として、障がいのある就学前児童に療育・機能訓練を実施した。

3歳から10歳の発達障がい（疑いを含む）児への個別療育を実施した。

なお、4月・5月は新型コロナウイルス感染症の影響により、休園となった。

R2年度実績等

通園事業契約件数：73件

発達障がい児個別療育事業契約件数：18件

評価理由・課題・改善点

関係機関において療育が必要とされた児童を受け入れ、令和2年度末には通園の児童数は62人であった。発達障がい児個別療育事業は定員18名に対して41名の応募があった。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

知的・精神・肢体に障がいのある児童の支援拠点として、障がいのある就学前児童に療育・機能訓練を実施。

3歳から10歳の発達障がい（疑いを含む）児への個別療育を実施

今後の方向性

継続

障がい福祉課

★令和2年度取組内容★

取組内容

就学前の児童に対して、民間事業者の活用も含めて、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練その他必要な支援の提供を行った。

小学校入学後の障がい児に対しては、居場所の確保や療育の提供を行うため、民間事業者の活用も含め、放課後等デイサービスの提供を行った。

R2年度実績等

（児童発達支援）支給決定児童：135人 （放課後等デイサービス）支給決定児童：310人

評価理由・課題・改善点

児童発達支援については、民間事業者の利用が増えてきている。また、保育所・幼稚園等との併用利用の児童が増えてきている。今後も引き続き、必要な支援の実施に努める。

放課後等デイサービスについては、利用者数は引き続き増加傾向にある。就学前に児童発達支援を利用していた児童が就学とともに放課後等デイサービスを利用開始するケースが特に増えている。課題としては、個別療育や運動機能等個別の障がいに関連した療育ができる支援が必要とされており、今後、専門性を生かしたサービスの提供に努める。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

（児童発達支援）支給決定児童：121人（令和3年6月末現在）

（放課後等デイサービス）支給決定児童：327人（令和3年6月末現在）

放課後等デイサービスについては、就学前に児童発達支援を利用していた児童が就学とともに放課後等デイサービスを利用開始するケースが増えており、4月時点で大幅に利用者数が増えている。今後も引き続き、必要な支援の実施に努める。

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 4 障がいのある子どもや配慮が必要な子どもへの支援

取組施策 3 障がいのある子どもや配慮が必要な子どもへの教育・保育の充実

集団の中で障がいのある子どもの発達を保障し、個々の状態に応じて可能性を伸ばすことができるよう、公立幼稚園・保育所・認定こども園において、必要な職員の配置、研修の充実等に努め、体制の整備を図ります。民間園に対しては、障がい児等を保育するにあたり必要となる経費に対する補助を行い、障がい児等の受け入れ体制の強化を図ります。学校においても、支援教育支援員や介助員、看護師等の配置に努め、支援教育に関する研修や巡回相談業務等の充実を図ります。
また、相談員が保育所・幼稚園・認定こども園・学校等を巡回し、支援を必要とする子どもの行動観察と所属する機関の職員の相談を受け付け、支援が必要な場合の早期対応に努めます。

保育幼稚園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

民間保育所等に対して障害児保育対策補助金（民間保育所等補助金の補助項目の1つ）を交付した。

R2年度実績等

実施箇所数18施設（私立のみ）
受入障がい児数：79人（うち特児6人）

評価理由・課題・改善点

障がいを持つ児童を受け入れている施設に対して適切に補助金を交付している。
今後、障がいを持つ児童の更なる受け入れの促進・より一層の充実等が図られる誘導策となるよう、補助の拡充等を検討する。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

障がいを持つ児童を受け入れている施設に対して補助金の交付をするとともに、障がいを持つ児童の更なる受け入れ促進、より一層の教育・保育の充実を図るため、補助対象児童及び補助額の拡充等を目指す。

今後の方向性

拡大：障がいを持つ児童の更なる受け入れ促進、より一層の教育・保育の充実を図ることを目的に、補助対象児童及び補助額の拡充等を旨とする。

こども発達支援センター

★令和2年度取組内容★

取組内容

発達障がいに関する知識を有する臨床心理士が、保育所・幼稚園・認定こども園等といった施設への巡回を実施し、施設の職員や保護者に対し、発達障がいの早期発見や早期療育の重要性等について助言・指導を行った。また、0歳から18歳未満の子どもの発達に不安を抱える保護者に対して、臨床心理士や教員OBが相談を受け、子どもの特性に応じた支援について助言するとともに、必要に応じて各関係機関やサービスにつなげた。

R2年度実績等

巡回相談件数：294件
巡回数：137回

評価理由・課題・改善点

施設からの申請に応じて巡回し、子どもの特性に応じた支援策を助言することにより、施設での発達支援の知識・技術が向上し、発達に課題のある子どもの早期発見につながっている。
臨床心理士や教員OBが保護者からの相談を受け付け、専門的な見地から適切な子どもへの関わり方や支援策について助言することにより、保護者の安心感や子どもの安定した生活につながることができている。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

発達障がいに関する知識を有する臨床心理士が、保育所・幼稚園・認定こども園等といった施設への巡回を実施し、施設の職員や保護者に対し、発達障がいの早期発見や早期療育の重要性等について助言・指導を行っている。
また、0歳から18歳未満の子どもの発達に不安を抱える保護者に対して、臨床心理士や教員OBが相談を受け、子どもの特性に応じた支援について助言するとともに、必要に応じて各関係機関やサービスにつなげる。

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 4 障がいのある子どもや配慮が必要な子どもへの支援

取組施策 3 障がいのある子どもや配慮が必要な子どもへの教育・保育の充実

学校教育課

★令和2年度取組内容★

取組内容

支援教育支援員を小学校全校に配置し、通常の学級に在籍する児童への支援に努めた。通級指導教室の活用を図るとともに、門真市巡回相談チームの各校への巡回相談を通じて、「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を活用した児童・生徒への適切な支援や、各小・中学校の校内指導体制の充実策について支援した。支援教育研修を充実させ、教職員の実践的指導力の向上に努めた。必要に応じて介助員・看護師を配置し、肢体不自由児や医療的ケアが必要な児童・生徒に適切な支援を行った。

R2年度実績等

支援教育支援員を小学校全校に配置した。肢体不自由児や医療的ケア児に対して、介助員や看護師を配置した。支援が必要な児童・生徒に対し「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を作成し、活用した。

評価理由・課題・改善点

門真市巡回相談チームを中心として、各小・中学校へ巡回相談を実施することができた。また、巡回訪問を行う中で「個別の教育支援計画」等をもとに児童・生徒への個々の指導方法を指導・助言し、また、各校の校内指導体制についても指導・助言することができた。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

支援教育支援員を小学校全校に配置し、通常の学級に在籍する児童への支援に努めている。新たに東小学校に通級指導教室が新設されたことにより、市内全体で通級校1校に対して巡回校1校の体制となり、通級指導教室のさらなる充実を図っている。門真市巡回相談チームの各校への巡回相談を実施し、「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を活用した児童・生徒への適切な支援や、各小・中学校の校内指導体制の充実策について支援している。新型コロナウイルス感染症の影響により集合研修が難しい状況ではあったが、オンライン等で支援教育研修を実施し、教職員の実践的指導力の向上に努めた。

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 4 障がいのある子どもや配慮が必要な子どもへの支援

取組施策 4 障がい福祉サービス等の提供

障がいのある子どもに対し、居宅で入浴、排せつ、食事などの介護を行う居宅介護、外出時の介助等を行う行動援護、日常生活における基本的動作の習得などの療育等を行う障がい児通所支援、介護ができない場合に短期間預かる短期入所や、相談支援事業、日常生活用具給付等事業、移動支援事業などのサービス提供を行います。

障がい福祉課

★令和2年度取組内容★

取組内容

居宅で入浴、排せつ、食事などの介護を行う居宅介護、外出時の介助等を行う行動援護、日常生活における基本的動作の習得などの療育等を行う障がい児通所支援、介護ができない場合に短期間預かる短期入所や、相談支援事業、日常生活用具給付等事業、移動支援事業などのサービスの提供を行った。

R2年度実績等

福祉サービス（居宅介護、行動援護、同行援護、短期入所） 支給決定児童 42人（延べ人数）
障がい児通所支援 支給決定児童 445人
計画相談事業 支給決定児童 307人
移動支援事業 支給決定児童 23人
日常生活用具給付事業 支給決定児童 39人

評価理由・課題・改善点

放課後等デイサービスの利用者数の増加に伴い、障がい福祉サービスの利用者数は横ばい傾向にある。今後も、保護者の支援の1つとして引き続きサービスの提供に努める。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

（令和3年度6月末時点）
福祉サービス（居宅介護、行動援護、同行援護、短期入所）
支給決定児童 40人（延べ人数）
障がい児通所支援 支給決定児童 448人
計画相談事業 支給決定児童 326人
移動支援事業 支給決定児童 21人
日常生活用具給付事業 支給決定児童 34人

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 4 障がいのある子どもや配慮が必要な子どもへの支援

取組施策 5 地域における障がい児支援の充実

障がいのある子どもが身近な地域で安心して暮らせるように、こども発達支援センターにおいて、保護者の相談支援や地域の保育所等に通う児童への支援を行う保育所等訪問支援を実施します。
また、学校現場をはじめとした関係機関と連携し、切れ目のない支援を目指します。

こども発達支援センター

★令和2年度取組内容★

取組内容

保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・高等学校等に通う発達が気になる子どもが集団生活に適應できるよう、臨床心理士が各施設を訪問して個別支援計画を作成し、この計画に基づき支援を行った。

R2年度実績等

相談件数：23件
契約件数：12件
訪問回数：51回

評価理由・課題・改善点

臨床心理士が各施設への訪問を行い、本センターの発達支援に関する専門性を地域に提供することによって、地域全体における発達支援のスキル・知識の底上げにつながり、発達の気になる子どもの早期療育につながった。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・高等学校等に通う発達が気になる子どもが集団生活に適應できるよう、臨床心理士が各施設を訪問して個別支援計画を作成し、この計画に基づき支援を行っている。

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 4 障がいのある子どもや配慮が必要な子どもへの支援

取組施策 6 障がい児に関する関係機関のネットワーク体制の充実

障がいの早期発見から支援に至るまで、個々の状況に応じた総合的な支援を行うため、福祉・教育・医療等の各関係機関が課題等の情報共有や、ケース会議等を通じて、必要となる取組についての相互の連携強化に努めます。

こども発達支援センター

★令和2年度取組内容★

取組内容

門真市障がい者地域協議会の下部組織である児童専門会議において、発達に課題がある子どもについて、その特性に応じた支援の在り方を検討するとともに、それぞれの機関において顔の見える関係を構築するなど、ネットワークの強化に努めた。

R2年度実績等

児童専門会議の開催数5回
(うち、第1回(令和2年5月18日)及び第6回(令和3年3月15日)については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、集会は中止し、メールでの情報共有で代替し、第5回(令和3年1月18日)については緊急事態宣言中であったため中止とした。)

評価理由・課題・改善点

門真市障がい者地域協議会の下部組織である児童専門会議を活用し、庁内外の関係機関との連携を図った。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

門真市障がい者地域協議会の下部組織である児童専門会議において、発達に課題がある子どもについて、その特性に応じた支援の在り方を検討するとともに、それぞれの機関において顔の見える関係を構築するなど、ネットワークの強化に努めている。

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 5 子どもが安全・安心に過ごせるまちづくり

取組施策 1 安全・安心な道路交通環境の整備

通学路の交通安全対策等、昨今の重点的な課題を踏まえながら、交通安全対策の一環としての道路交通安全施設（道路反射鏡や道路照明灯、カラー舗装、区画線、路面シート等）の設置及び改良等を実施します。

道路公園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

「交通安全施設整備事業」として、通学路の交通安全対策等、昨今の重点的な課題を踏まえながら、交通安全対策の一環としての道路交通安全施設の設置及び改良等を実施する。具体的には、道路反射鏡や道路照明灯、カラー舗装、区画線、路面シート等の設置を行う。

R2年度実績等

市内の延べ18箇所において、歩道防護柵、道路反射鏡、道路照明灯、カラー舗装、区画線等の設置を行った。

評価理由・課題・改善点

通学路など交通安全のための安全施設の設置を行ったため。
通学児童の交通安全対策、自動車・自転車・歩行者が共存する生活道路の交通安全対策について、引き続き重点的に的確な情報収集や対策を推進する必要がある。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

8月に通学路の合同点検を実施した。

今後の方向性

継続

基本目標1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策5 子どもが安全・安心に過ごせるまちづくり

取組施策2 良質な居住環境の確保

子育て世帯にとって良質な居住環境を確保するため、ファミリー向け賃貸住宅やゆとりのある住まいの向上や確保に向け、大阪府や民間事業者との連携を深めます。

都市政策課

★令和2年度取組内容★

取組内容

居住の安定確保ができる環境を整備することを目的とした「Osakaあんしん住まい推進協議会」へ参加し、連携を図る。

R2年度実績等

Osakaあんしん住まい推進協議会へ参加した。

評価理由・課題・改善点

協議会へ参加する取組みだけなので、今後、他の取組みについては必要に応じて検討する。

評価

B

★令和3年度取組内容★

4月～8月
の取組

「Osakaあんしん住まい推進協議会」へ参加し、協議会を通して、居住の安定確保に関する情報を共有した。

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 5 子どもが安全・安心に過ごせるまちづくり

取組施策 3 子どもの交通安全の確保

子どもの交通安全への意識を高めるため、公立幼稚園・保育所・認定こども園・小学校において、警察等との共催による交通安全教室を実施します。民間保育所等に対しては、国からの通知などを適切に周知し、啓発に努めます。

また、自転車事故を防止するため、小学生を主な対象として交通ルールや自転車の正しい乗り方を学ぶ「こども自転車運転免許証交付講習会」を実施するとともに、自転車を安全に利用する意識の向上を目的として「門真市自転車安全利用に関するマナー条例」の更なる周知に取り組みます。

保育幼稚園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

公立園において交通安全教室を実施した。

R2年度実績等

砂子みなみこども園1回、大和田幼稚園1回実施

評価理由・課題・改善点

門真警察署の協力や園独自で園児に交通ルールの話をしたり、実際に模擬道路を設置して歩行を体験させることで、交通安全の大切さについて学ぶことができ、それをきっかけに、外出時に信号や車に注意が向けられるようになるため、取り組みとしては有意義である。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

現時点で実施なし。

今後の方向性

継続

教育総務課

★令和2年度取組内容★

取組内容

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、交通安全に関する通知を各校に行った。また、登下校時における子どもたちの安全確保を図るため、市内の通学路において特に交通安全対策の必要が認められる箇所、交通専従員を配置した。

R2年度実績等

新型コロナウイルス感染症の影響で関係機関との共催の「こども自転車運転免許証交付講習会」について実施していない。
通学路の点検を他課等と連携しながら市内小学校5校で実施した。
市内の通学路に38名の交通専従員を配置した。

評価理由・課題・改善点

通学路など交通安全のための注意喚起掲示物の設置を行ったため。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた警察等との共催による交通安全教室を実施に向けた協議を行った。また、市内の通学路では、38名の交通専従員を配置した。そのことによって子どもたちの安全確保や安全意識の向上につながったと考える。

今後の方向性

継続

基本目標1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策5 子どもが安全・安心に過ごせるまちづくり

取組施策3 子どもの交通安全の確保

道路公園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

「こども自転車運転免許証交付講習会」については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施していない。
「門真市自転車安全利用に関するマナー条例」の周知についても新型コロナウイルス感染症の影響により啓発活動が中止となっている。

R2年度実績等

「こども自転車運転免許証交付講習会」については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施していない。
「門真市自転車安全利用に関するマナー条例」の周知についても新型コロナウイルス感染症の影響により啓発活動が中止となっている。

評価理由・課題・改善点

新型コロナウイルス感染症の影響により未実施となったが、子どもへの交通安全への意識を高めるためには、今後も、実施していく必要があり、感染対策等を講じる必要がある。

評価

C

★令和3年度取組内容★

4月～8月 の取組

新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

今後の方向性

継続

基本目標 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり

基本施策 5 子どもが安全・安心に過ごせるまちづくり

取組施策 4 公園等の整備

子どもが安心してのびのび遊べるよう、子どもの遊び場としての公園等の整備を行い、必要に応じて子どもたちが事故やけがをしないよう遊具の改善を行うとともに、安全性を確保するため、遊具等の安全点検や更新、樹木の管理等に努めます。

道路公園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

「公園維持管理事業」において、遊具を安全に利用することができるよう、老朽化した遊具等の更新や住民ニーズに合った改修を行うと共に、公園設備の清掃や樹木の管理などを適切に行い、事故を未然に防ぎ、安全・安心・快適に公園を利用できる状態を保った。

R2年度実績等

市内一円の公園施設の清掃業務や樹木の管理等を計画的に行ったほか、遊具の安全点検にも努め、公園施設長寿命化計画に基づく遊具の更新を実施した。

評価理由・課題・改善点

老朽化した公園施設を今後、計画的に更新・修繕する計画を策定したため。遊具ゴミの放置や遊具施設へのいたずらが多い。
公園愛護会など、地域との共同により公園を管理していく必要がある。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

遊具更新工事発注のための設計業務を実施した。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業による市内一円の公園の除草業務の実施に加え、公園内の清掃や樹木剪定を徹底することでより快適に公園を利用できるよう努めた。

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策1 家庭での子育てを支えるサービスの利用支援

取組施策1 子育てに関するサービス利用支援体制の充実

子育て支援の周知

子育てに関する支援やサービスを必要とする人が適切に利用できるよう、広報紙のほか「かどま子育て支援まっぷ」による支援内容の周知や、「門真市子育て応援サイトすくすくひよこナビ」を通じて情報発信を行うなど、さまざまな媒体や機会を通じて、子育て支援に関する情報提供や周知を行います。

子育て支援課

★令和2年度取組内容★

取組内容

妊娠中から概ね中高生の子どもを持つ保護者に役立つ情報として、健康診断や予防接種の情報、各種手当に係る情報、認定こども園、保育所、幼稚園、なかよし広場、地域子育て支援センター、小・中学校、生涯学習・スポーツ施設等に係る情報、その他の子育て支援施策やイベント情報等を提供した。

R2年度実績等

(子育て応援サイトすくすくひよこナビ)
閲覧件数：200,665件/年

評価理由・課題・改善点

令和元年度閲覧件数171,789件を上回る閲覧があり、子育て情報の取得ツールとして一定寄与することができた。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

改訂した「かどま子育て支援まっぷ」を各機関や窓口で配布した。
また、子育て支援に関する情報を「子育て応援サイトすくすくひよこナビ」に随時掲載した。

今後の方向性

継続

子育て世代包括支援センター（利用者支援事業[基本型・母子保健型]）

妊娠期から子育て期までの悩み事に対してワンストップで相談に応じる「子育て世代包括支援センターひよこテラス」の運営を開始し、育児の孤立化を防ぎ、児童虐待の予防や早期発見につなげることができるよう、関係機関によるネットワークづくりに努めていきます。

子育て支援課

★令和2年度取組内容★

取組内容

(基本型)
ひよこる〜むを子育て世代にとって家庭と地域をつなぐ身近な相談窓口として周知を行うとともに、関係機関によるネットワークづくりのための検討会議を行った。

R2年度実績等

相談件数：83件

評価理由・課題・改善点

育児の孤立化を防ぎ、児童虐待の予防や早期発見に繋げることができるよう、引き続き関係機関によるネットワークづくりと連携体制を整備していく必要がある。

評価

B

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

緊急事態宣言等で来所相談ができないため、電話やオンラインでの相談受付を行っている。
相談件数：13件

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策1 家庭での子育てを支えるサービスの利用支援

取組施策1 子育てに関するサービス利用支援体制の充実

健康増進課

★令和2年度取組内容★

取組内容

(母子保健型)
母子健康手帳の交付時や転入した妊婦に対し、助産師等による全数面接や産後2週間ごろに電話などでの様子を伺った
助産師が養育者の相談に応じるとともに、その内容を地区の担当保健師へ引き継ぎ、支援の継続を実施した

R2年度実績等

妊娠届出：765件
転入：71件
産後2週間電話：653件

評価理由・課題・改善点

引き続き助産師等による全数面接から、支援が必要なケースには早期に地区担当保健師の介入につなげる。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

助産師等による妊娠届出時及び転入した妊婦に対する全数面接により、妊娠期から必要な支援を実施している。出産後は産後2週間頃の全数電話などで様子確認を行い、育児不安や負担を軽減できるよう支援を実施している。

今後の方向性

継続

保育コンシェルジュの配置（利用者支援事業[特定型]）

保護者のニーズに応じて、幼稚園・保育所・認定こども園等の利用をはじめ、さまざまな子育て支援サービスの円滑な利用に向けた支援を行うため、市役所窓口に専門相談員を配置し、支援を行います。

保育幼稚園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

保育幼稚園課窓口子ども・子育て支援サービス相談員（保育コンシェルジュ）を配置し、市民の相談や手続きの支援等を行うことで、個々のニーズに合致した子育て支援サービスの利用を促進した。

R2年度実績等

(保育利用に関すること)
窓口：2,693件
電話：992件
(幼稚園に関すること)
窓口：108件
電話：70件
(子育てサービスに関すること)
窓口 49件
電話 12件

評価理由・課題・改善点

研修を受講した相談員を常時2人配置し、市民から個々の状況を適切に聞き取ることで、保育所や幼稚園、認定こども園、一時預かり事業など、個々のニーズに真に合致した子育てサービスの提供につなげることで、市民サービスの向上と待機児童解消の一役を担っている。市を挙げて待機児童対策を強化している中、今後さらに体制を強化し、関係機関との連携や、より積極的な情報提供、利用斡旋などを実施することで、更なる成果につなげていく必要がある。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

保育利用に関すること、幼稚園に関すること、その他子育てサービスに関すること等の相談に応じた。

※令和3年4月～7月実績

(保育利用に関すること)	(子育てサービスに関すること)
窓口 1,000件	窓口 20件
電話 442件	電話 21件
(幼稚園に関すること)	
窓口 40件	
電話 40件	

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策1 家庭での子育てを支えるサービスの利用支援

取組施策1 子育てに関するサービス利用支援体制の充実

外国につながる児童・保護者への支援

子どもの国籍や文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるようにすることや、外国籍家庭など、特別な配慮を必要とする家庭の場合には、状況等に応じて個別の支援を行うよう努めること等の配慮を行います。

保育幼稚園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

共生をキーワードに、就学前教育・保育施設等における人権教育の充実を図り、すべての子どもを大切にす
る教育・保育の充実に努めた。

公立園については個人懇談等への通訳の派遣や、ポケットークを活用している。また、おたよりやお知らせ等
を翻訳し配布している。

R2年度実績等

公立園での通訳活用件数：5件

評価理由・課題・改善点

個人懇談等に通訳が入ることで、保護者と保育教諭等の意思
疎通・共通理解ができたため。
多国籍に対応しきれていないのが課題である。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月 の取組

公立園での通訳活用件数：1件

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策1 家庭での子育てを支えるサービスの利用支援

取組施策2 悩みが相談できる交流拠点の確保

地域子育て支援拠点事業

本市全域（南部：なかよし広場、北部：ひよこる～む）で遊びの場の提供や子育て及び子育て支援に関する講習会等を実施することで保護者や子どもが仲間づくりや子育てに関する情報交換ができる機会を提供するとともに、子育てに関する悩み事に対し相談支援を実施し、必要に応じた助言や情報提供を行います。また、幼稚園・保育所・認定こども園等においても、地域の親子に対する交流や相談の場を確保します。

保育幼稚園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

公立各園については園庭・保育室の開放や絵本の読み聞かせ等実施し、交流や相談の場を確保しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため実施は見送った。
公園等に出向き、「あおぞら保育」を実施し、園外での交流や相談の場を確保した。

R2年度実績等

あおぞら保育：4回

評価理由・課題・改善点

園庭・保育室の開放は、気軽に参加できる交流や相談の場となっているが、コロナ禍での実施には検討が必要である。また、公立保育所については敷地が狭く、十分な環境が整っていない。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため現時点では実施していない。

今後の方向性

継続

子育て支援課

★令和2年度取組内容★

取組内容

子育て中の親子が気軽に集い、交流や育児相談等ができる場として、親子でふれあえるプログラムの実施、子育てに関するアドバイスや情報提供をした。

R2年度実績等

年間延べ利用人数：4,129人
なかよし広場：724人
ひよこる～む：3,405人

評価理由・課題・改善点

令和元年度年間延べ利用者数は13,000人であったが、緊急事態宣言等による閉室やプログラムの中止により利用者が減少した。
コロナ禍でも子育て支援の充実が図れるよう手法を検討していく必要がある。

評価

B

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

「ひよこる～む」において、TwitterやZoomを用いたオンラインによるプログラムの実施や子育て支援に関する情報発信を開始した。

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策1 家庭での子育てを支えるサービスの利用支援

取組施策2 悩みが相談できる交流拠点の確保

育児サポートセンター事業

乳幼児健診等を通じて、子どもの発育・発達をつまずきなどを早期発見し、支援の必要性が認められた乳幼児やその保護者を対象に、集団保育の場を通じて、育児に対する助言や指導等を行います。

健康増進課

★令和2年度取組内容★

取組内容

昨年に引き続き、保護者対象に言語や発達についての講座を開催した。午後からは個別懇談、相談室の実施
又、保護者向けのおはなし広場やわいわいミーティングの取り組みなどで保護者同士の交流の場も広がっている。感染状況により予定していた行事が開催できなかったり縮小して工夫しながら実施できた行事もあった。

R2年度実績等

入室人数：64人
令和元年度よりの継続児を含めた
年間通室児：110人

評価理由・課題・改善点

集団保育の場を通じて、子どもの発達と保育の経過観察をし、保護者が前向きに子育てできるように、指導や助言を行うことができた。コロナ禍でも保護者が安心して通室できるよう引き続きしっかりと感染対策に努めていく。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

週1回午前中に親子で通室してもらうことで、集団保育の場を通じて、子どもの発達を促した。また、育児不安の軽減を図るため適切な指導助言を行った。
新型コロナウイルス感染症対策のため、各クラスの人数が多数にならない様に午前中のクラスを2グループに分け、人数調整して午後からのクラスを増設する。今年度は早い時期からこども発達支援センターに希望する療育が必要となった児童が待機の状態になっているので、児童や保護者への支援に努めている。

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策1 家庭での子育てを支えるサービスの利用支援

取組施策3 多様な子育て支援サービスの提供

一時預かり事業

保護者の疾病や急用、短期のパートタイム就労などにより、一時的に保育を必要とする子どもに対して、幼稚園・保育所・認定こども園等において一時預かりを実施します。

保育幼稚園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

同事業を実施する市内保育所・認定こども園等に対して補助を行った。

R2年度実績等

利用状況

幼稚園型：14,683人

一般型：1,154人

評価理由・課題・改善点

新型コロナウイルス感染症の影響から、一般型の利用状況が子ども・子育て支援事業計画における年間延べ利用人数の見込み量を下回っているが、これまでの利用実績からも子育て支援サービスの一つとして重要な役割を担っている。

今後、利用ニーズの動向を把握する中で、施設箇所数等について検討していく必要がある。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

同事業を実施する市内保育所・認定こども園等に対して補助を行った。

今後の方向性

継続

病児・病後児保育事業

就労等の事情で病気（病児）や病気の回復期（病後児）にある子どもを家庭において保育が困難な場合に、看護師、保育士等がいる専用施設内で一時的に預かり、保護者の家庭と就労の両立を支援する病児・病後児保育を実施します。

また、市域全体での病児・病後児保育事業の量の見込みを確保するため、施設整備の実施に努め、実際の利用状況や利用ニーズを踏まえ、適切な事業実施を行います。

保育幼稚園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

同事業を実施する市内病児・病後児保育室に対して補助を行った。

また、令和2年10月に開室した「スマイルこどもクリニック病児保育すまいるーむ」に対し施設整備事業補助金を交付した。

R2年度実績等

年間延べ利用者数：80人

病児保育すまいるーむ：73人

智鳥保育園病後児保育室：7人

施設整備事業補助金：18,889千円

評価理由・課題・改善点

令和2年1月に病児保育室ティーグルが閉室し利用人数が減少していたなか、令和2年10月に病児保育すまいるーむが開室したものの、子ども・子育て支援事業計画における年間延べ利用人数の見込み量を下回ったため。

評価

B

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

子育て世帯への支援策として病児・病後児保育室の利用料を1日500円へ引き下げるとともに、ホームページ、広報かどま等への掲載、市内保育施設等を通じて本事業の周知活動を行った。

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策1 家庭での子育てを支えるサービスの利用支援

取組施策3 多様な子育て支援サービスの提供

子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）

保護者の疾病や育児疲れ等の理由で、家庭での児童の養育が一時的に困難となった場合に児童養護施設等において、一定期間保護を行う「ショートステイ」、保護者が仕事などの理由で平日の夜間または休日に保護する「トワイライトステイ」を実施します。

子育て支援課

★令和2年度取組内容★

取組内容

受入れ先として、6施設と委託契約を締結。また、かどま子育て支援まつり、市ホームページ、窓口等で事業の周知を行った。

R2年度実績等

委託施設箇所数：6か所
利用人数
ショートステイ：4人
トワイライトステイ：0人
延べ利用日数
ショートステイ：23日
トワイライトステイ：0日

評価理由・課題・改善点

送迎可能な施設と契約締結することにより、利用者の利便性を図ることができた。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

委託施設箇所数：6か所
利用人数
ショートステイ：1人
トワイライトステイ：0人
延べ利用日数
ショートステイ：4日
トワイライトステイ：0日

今後の方向性

継続

子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

幼稚園・保育所・認定こども園等や放課後児童クラブなどの送り迎えなどの子育て支援の援助を行う人（協力会員）と援助を必要とする人（依頼会員）の相互支援活動を推進するファミリー・サポート・センターの運営を行います。また、支援ニーズに応じてコーディネートを行うなど、活動の充実に努めます。

子育て支援課

★令和2年度取組内容★

取組内容

コロナ禍においても事業を継続し、子どもの預け先や送迎に困っている保護者の子育てをサポートした。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもの預け先が休業となった場合に、保護者が当該事業を利用しやすいよう、利用料の補助制度を新たに設けた。

R2年度実績等

年間延べ利用人数：180人

評価理由・課題・改善点

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動依頼数が減少した。また、感染拡大防止の観点より、協力会員としての登録に必須の講習会を実施できず、新規協力会員の獲得ができなかった。

評価

B

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

「ファミリー・サポート・センターの利用方法について」「新型コロナウイルス感染症の影響で子どもの預け先が休業となった保護者が、代わりにファミリー・サポート・センターを利用した場合に、その利用料の補助をする制度について」を記載したポスターを（2種）作成し、市内の保育所等に掲示依頼を行った。

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策2 母子保健・医療の充実

取組施策1 母子保健事業の推進

妊婦健康診査（公費負担）

妊娠期の高血圧症の予防や飛び込み出産のリスクを防止することによる母子の健康保持や、健診の経済的負担を軽減し、安心して出産を迎えることができるよう、さまざまな機会を通じて妊婦健康診査の受診を促すため、健診費用の一部を助成し、受診の促進を図ります。また、妊婦歯科健康診査を全額公費負担しています。

健康増進課

★令和2年度取組内容★

取組内容

妊娠中、14回の公費負担【1回目20,000円、6・8・13回目10,000円＋補助券10枚（1枚あたり1,000円）の合計120,000円】を実施した。妊娠届出時に交付し、公費負担券の利用方法などの説明を実施した。

併せて、無料の妊婦歯科健康診査受診券を交付した。

R2年度実績等

妊婦健康診査受診人数：延べ9,319人
（償還払い含む）

妊婦歯科健康診査受診人数：148人

評価理由・課題・改善点

妊娠届出の時期が遅い、届出しても病院を受診しないなど、妊婦健康診査の適切な受診につながりにくい妊婦が存在する。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

助産師2名体制で、妊娠届出時の全数面接時に妊婦健康診査の受診の必要性や妊娠期の過ごし方などを丁寧に説明している。

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策2 母子保健・医療の充実

取組施策1 母子保健事業の推進

乳幼児健康診査

乳幼児の健康の保持・増進を図るため、成長・発達の節目となる時期である4か月児・1歳6か月児・2歳6か月児（歯科）・3歳6か月児に対する健康診査を実施するとともに、乳児期に医療機関で受診ができるよう、乳児一般健診・後期健診の受診券を交付します。健診において経過観察が必要な場合には、発達等の相談も含め経過観察健診を実施します。

健康増進課

★令和2年度取組内容★

取組内容

4か月児健康診査：月2回
2歳6か月児健康診査：月1～2回
経過観察健康診査（Dr）：月3回程度
※乳児一般健康診査、乳児後期健康診査は医療機関で実施

1歳6か月児健康診査：月1～2回
3歳6か月児健康診査：月1～2回
経過観察健康診査（心理）：月7回程度

R2年度実績等

受診者数
4か月児※ 710人
1歳6か月児 738人
2歳6か月児 477人
3歳6か月児 477人
※4か月児には、4か月児健診の代わりに経過観察健診を受診した人数を含む
※令和2年3月～6月は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため4か月児～3歳6か月児健診は中止した。健診によっては、実施回数を追加し、中止していた時期の対象者にも実施した。

経過観察健診（Dr） 331人
経過観察健診（心理） 444人
乳児一般健診 654人
乳児後期健診 635人

評価理由・課題・改善点

乳幼児の健やかな発育、発達を目指すため引き続き、受診率向上への取組とともに、未受診児の状況確認に努め、支援が必要な家庭を適切に把握できるよう、未受診対策は今後も必要である。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

新型コロナウイルス感染症のため、緊急事態宣言が発令されている状況においても、乳幼児の発育発達の確認の機会であるため、感染防止対策を取りながら実施している。

今後の方向性

継続

予防接種事業

乳幼児の感染症を予防し、健やかな育ちを育むため、各種予防接種の費用を助成します。事業の周知に努めるとともに、予防接種を受けやすい環境の整備に努め、ワクチンの接種率の向上を図ります。

健康増進課

★令和2年度取組内容★

取組内容

定期予防接種の実施と共に、個別通知を実施した。また、風しんの感染拡大防止のため、風しんの追加的対策が実施し、未受検者へ勧奨はがきを発送し、市民、医療機関および関係機関への周知に努めた。BCGについては個別接種へ移行し、市民の利便性の向上に努めた。

R2年度実績等

延べ予防接種者数
（助成事業含む）：42,087人

評価理由・課題・改善点

風しんの感染拡大防止のため、風しんの追加的対策が実施したが、クーポン券の利用率が低かった。引き続き、周知に努め利用率の向上を図る。

評価

B

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

予防接種の接種機会を市民へ周知するとともに、予防接種を受けやすい環境の整備に努めた。MR2期、2種混合・日本脳炎の対象者には個別通知とともに予診票を同封し、さらなる接種勧奨に努め、接種率の向上を図った。また、BCGの個別接種の実施の導入により市民の利便性の向上に努め、平成31年度から3年間の時限措置として実施している風しんの追加的対策により、風しんのまん延防止に努めた。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等のリスクにより定期の予防接種の機会を逸した方へ令和3年度末までの特例措置を実施する。

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策2 母子保健・医療の充実

取組施策2 不安を解消し交流の場となる相談・講習等の充実

かどまママパパ教室（妊婦教室）

妊娠、出産、育児についての知識を深めてもらうため、また、妊婦同士の仲間づくりや交流の場として、かどまママパパ教室（妊婦教室）を月1回実施します。父親が参加しやすい日曜日にも開催し、父親にも育児の知識を深めてもらい、育児参加を促します。

健康増進課

★令和2年度取組内容★

取組内容

平日に9回教室を実施した。

R2年度実績等

参加延べ人数

74人（内：父34人）

※令和2年3月からR2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため教室開催を中止。平日のみ令和2年7月から再開している。

評価理由・課題・改善点

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため日曜日の開催を中止しているが、平日開催時の父親の参加も多く見られた。引き続き感染対策を行いながら運営をしていく。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

平日は5月・7月実施した。

日曜日は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、妊婦が来所する当該教室と休日診療所の併行実施が困難と判断し中止している。

今後の方向性

継続

妊産婦・乳幼児相談

妊産婦や乳幼児の健康を保持するため、妊婦に対する貧血や妊娠高血圧症候群等の予防や健康管理の相談、また産婦に対する母乳相談や出産後の体調、子どもの発育状況、育児面、栄養面（乳児期は特に離乳食）等の相談を実施します。相談しやすい雰囲気づくりや、母親の孤立を避けるための仲間づくりに努め、環境の充実に努めます。

健康増進課

★令和2年度取組内容★

取組内容

毎月1回市民プラザにて保健師や栄養士等による相談を実施した。

R2年度実績等

開催回数：2回（新型コロナウイルス感染症の影響により、残り10回は中止）

相談延べ人数（乳幼児）：3人
（うち身体計測のみ1人）

評価理由・課題・改善点

妊婦の相談実績がないため、相談しやすい体制づくりの検討が必要である。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

令和3年4月～新型コロナウイルス感染症の影響により中止している。

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策2 母子保健・医療の充実

取組施策2 不安を解消し交流の場となる相談・講習等の充実

離乳食講習会

乳幼児の保護者が、栄養に関する知識を深め、正しい食生活や食習慣を身につけるとともに、食育を推進するため、離乳食の調理実演、試食を行う離乳食講習会を開催します。

健康増進課

★令和2年度取組内容★

取組内容

4～6月を除く年7回の教室を開催した。

R2年度実績等

参加人数：延べ74人

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として人数枠を上限なしから7組へ縮小して開催

※令和2年4～6月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

評価理由・課題・改善点

現状、予約人数が少なく、個別の支援を受けていると思われるが、参加されない（できない）方の支援も工夫していきたい。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月
の取組

8月を除く4回の教室を開催した。

今後の方向性

継続

不妊に悩まれる方への支援の周知

大阪府不妊専門相談センター（ドーンセンター内）で実施している不妊に関する悩みの相談などの事業や、不妊治療にかかる経済的支援として実施している大阪府の不妊に悩む方への特定治療支援事業の啓発を行います。

健康増進課

★令和2年度取組内容★

取組内容

窓口での啓発チラシの配架や、個別相談時における情報提供を必要に応じて実施した。

R2年度実績等

ホームページに掲載した。

評価理由・課題・改善点

不妊相談は、大阪府が実施主体となっていることから、必要な方へ適切に情報周知がなされる必要がある。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月
の取組

窓口での啓発チラシの配架や、個別相談時における情報提供を必要に応じて実施する。

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策2 母子保健・医療の充実

取組施策3 孤立を防ぐ訪問活動の充実

乳幼児全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）として、生後4か月を迎えるまでの乳児のいるすべての家庭を訪問し、育児不安などに関する相談及び助言・健診の案内・子育て支援サービスの情報提供を行い、育児の孤立化を防ぎます。

また、支援が必要な乳幼児や保護者に対して助産師、保健師等により家庭訪問を実施します。発育や発達面のつまずきや虐待の早期発見を目的に健診未受診者の家庭訪問も行います。

健康増進課

★令和2年度取組内容★

取組内容

妊娠期からの切れ目ない支援体制の充実のため、「乳児家庭全戸訪問事業ガイドライン」により、本事業は母子保健法における新生児訪問等の乳児に対する訪問指導と併せて実施することが可能であるため、新生児訪問を実施した件数（274人）を除いて実施した。

R2年度実績等

対象：431人
利用人数：393人（不在含む）
転出等：38人

評価理由・課題・改善点

妊娠届出時の全数面接や産後2週間電話フォローで得られた情報を確実に結びつけることで、対象者の状況に応じた訪問支援を提供するとともに、訪問結果を4か月児健診に適切につなげるよう引き続き努めていく。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

妊娠期からの切れ目ない支援体制の充実のため、「乳児家庭全戸訪問事業ガイドライン」により、本事業は母子保健法における新生児訪問等の乳児に対する訪問指導と併せて実施することが可能であるため、新生児訪問を行った件数（274人）を除いて実施する。

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策2 母子保健・医療の充実

取組施策4 小児医療・救急体制の充実

医療機関と連携し、かかりつけ医を持つことの啓発を進めるとともに、門真市保健福祉センター診療所並びに北河内夜間救急センターの体制整備の充実等に努めます。

健康増進課

★令和2年度取組内容★

取組内容

休日診療の運営を継続するとともに、北河内7市において、応急診療体制や必要な医療を適切に受けることができる医療環境を整備するとともに、昨年度に引き続き感染症対策に努めた。

R2年度実績等

保健福祉センター診療所受診者数（小児科のみ）：137人
北河内夜間救急センター受診者数（門真市民のみ）：54人

評価理由・課題・改善点

北河内夜間救急センターが枚方市に所在するため、門真市民の利用が少ない。また、休日診療所の医療機器等各設備が修繕・更新の必要な時期にさしかかっており、計画的な更新の実施に努めていく。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月
の取組

昨年度に引き続き土日祝に休日診療の運営を実施している。また、新型コロナウイルス感染症を否定できない発熱患者との動線を分離して診療する必要があるため、令和2年12月より開始している診療室外にある陰圧テントを使用した発熱外来を今年度も引き続き実施する。

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策3 子育て家庭への経済的支援

取組施策1 子育てに関する経済的な支援

子育てに関する給付

中学校卒業まで（15歳の誕生日後の最初の3月31日まで）の児童を養育している方に対し、児童手当を支給するとともに、制度の情報提供に努め、児童福祉の向上と子どもの健全な育成を図ります。

また、子どもの健全育成及び児童福祉の向上を図るため、医療費の一部を助成します。国・大阪府及び府内各市町村の動向を勘案しつつ、財政状況等を踏まえ、制度の拡充について検討し、充実に努めます。

こども政策課

★令和2年度取組内容★

取組内容

児童福祉の向上と子どもの健全な育成を図るため、中学校卒業まで（15歳の誕生日以後の最初の3月31日まで）の児童を養育している方に児童手当・特例給付を支給した。

R2年度実績等

（児童手当・特例給付）

受給者（令和3年3月現在）：7,160人

対象児童（令和3年3月現在）：11,895人

支給額：1,621,585,000円

評価理由・課題・改善点

引き続き、制度の周知を図りながら、児童手当の適正な支給に努める必要があるため。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月 の取組

受付状況

新規：217件

額改定：133件

消滅届：154件

変更届：70件

現況届（6月のみ）：6,526件

広報やホームページなどで周知しながら、必要な手続きができていない対象者には、連絡を取ることや調査をすることで、適正な支給に努めている。

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策3 子育て家庭への経済的支援

取組施策1 子育てに関する経済的な支援

障がいのある子どものいる家庭への支援

障がいのある子どものいる家庭を対象に特別児童扶養手当や障がい児福祉手当など、障がいのある子どもの福祉の増進を図ることを目的に、継続して支援体制の維持に努めます。

こども政策課

★令和2年度取組内容★

取組内容

障がいのある子どものいる家庭を対象に特別児童扶養手当や障がい児福祉手当など、障がいのある子どもの福祉の増進を図ることを目的に、継続して支援体制の維持に努めます。

R2年度実績等

(特別児童扶養手当)
受給者(令和3年3月現在): 335人

評価理由・課題・改善点

引き続き、対象者に対し、特別児童扶養手当の適正な支給に努め、障がいのある子どもの福祉増進を図る必要がある。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

受付状況
新規: 15件
諸届(有期更新等): 67件
額改定: 3件
変更届: 14件
喪失(職権含む): 8件
令和3年8月12日より所得状況届の受付開始

今後の方向性

継続

障がい福祉課

★令和2年度取組内容★

取組内容

日常生活に常時特別の介護を必要とする20歳未満の在宅障がい児を対象に障がい児福祉手当など、障がいのある子どもの福祉の増進を図ることを目的に、継続して支援体制の維持に努めます。

R2年度実績等

障がい者手帳取得者に対して障がい児福祉手当認定申請手続きを促した。また門真市ホームページや門真市広報(年1回)で手当の周知を行った。
障がい児福祉手当受給者: 63人

評価理由・課題・改善点

重度障がいのため必要となる精神的・物理的な負担の軽減の一助として障がい児福祉手当を支給することにより、障がい児の福祉の増進が図られた。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

資格喪失: 2件
新規認定: 1件

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策3 子育て家庭への経済的支援

取組施策2 経済的理由により就学が難しい児童への経済的支援

すべての子どもが等しく学ぶ機会を得られるよう、経済的理由により就学することが困難な児童・生徒の家庭に対して就学援助費を支給します。

学校教育課

★令和2年度取組内容★

取組内容

児童・生徒の就学する市内の各小中学校を通して各家庭に申請書を配付。各小中学校及び市教育委員会に提出された申請に対し、大阪市消費者物価指数をもとにした認定基準に基づき認定を行い、9月及び翌年3月に就学援助費の支給を行った。

R2年度実績等

本市小・中学校在籍の5,273人に対し就学援助費を支給した。

評価理由・課題・改善点

経済的に就学が困難な児童及び生徒の保護者に対して就学援助を行い、義務教育の円滑な実施に寄与している。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月
の取組

児童・生徒の就学する市内の各小中学校を通して各家庭に申請書を配付。各小中学校及び市教育委員会に提出された申請に対し、大阪市消費者物価指数をもとにした認定基準に基づき認定を行った。

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策4 ひとり親家庭等の自立支援の推進

取組施策1 ひとり親家庭等への相談体制の充実と養育費の確保に向けた支援

ひとり親家庭等の多様な不安や悩み、相談に対応するため、相談支援体制の充実に引き続き努めるとともに、各種制度やサービス等の円滑な利用に向けたわかりやすい情報提供に努めます。
また、養育費の確保や面会交流に関する相談・支援の充実を図ります。

子育て支援課

★令和2年度取組内容★

取組内容

母子・父子自立支援員による相談支援を実施、養育費の確保や面会交流も含めた離婚に関する情報提供を実施。また、コロナ禍での生活に関する相談支援などを実施した。

R2年度実績等

離婚前相談：47件
離婚後相談：210件

評価理由・課題・改善点

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、多くの相談に対応した。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月 の取組

母子・父子自立支援員を中心に相談支援を実施した。
(離婚前相談：16件、離婚後相談：107件)

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策4 ひとり親家庭等の自立支援の推進

取組施策2 ひとり親家庭等における就労支援の充実

ひとり親家庭等が安定的な収入を得て、自立した生活を送ることができるよう、関係機関や関係団体等と連携し、就労相談や求人情報等の提供を行うとともに、就労支援体制の充実を図ります。

子育て支援課

★令和2年度取組内容★

取組内容

ひとり親家庭が安定した収入を得ることができるよう、門真市ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等を活用した資格取得への支援などを実施した。またハローワーク等と連携しながら、就労への支援を実施した。

R2年度実績等

高等職業訓練促進給付金支給件数：10件
自立支援教育訓練促進給付金支給件数：3件
就労相談件数：18件

評価理由・課題・改善点

ハローワークと連携しながら、就労支援を実施することができた。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月
の取組

給付金の支給の他、ハローワークと連携しながら就労支援を実施した。
(令和3年8月現在)
高等職業訓練促進給付金支給件数：14件
自立支援教育訓練促進給付金支給件数：1件
就労相談件数：4件

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策4 ひとり親家庭等の自立支援の推進

取組施策3 ひとり親家庭等への経済的支援

経済的支援に関する各種制度について情報提供を行うとともに、生活困窮者自立支援制度など他の自立支援策との連携を図りながら、適正な給付・貸付業務の推進を図ります。

こども政策課

★令和2年度取組内容★

取組内容

ひとり親家庭に対し自立を支援するため、申請書をもとに児童扶養手当を支給した。また、生活の安定と児童の健全な育成を図るため、医療費の一部を助成した。

R2年度実績等

(児童扶養手当)
受給者(令和3年3月現在):1,386人
対象児童(令和3年3月現在):2,060人
支給額:749,047,580円
(ひとり親家庭医療助成)
受給者(親等)(令和3年3月現在):1,269人
(子)(令和3年3月現在):1,890人
助成件数:33,650件
助成額:91,964,087円

評価理由・課題・改善点

引き続き、児童扶養手当の適正支給に努めるとともに、ひとり親家庭医療費の一部を助成することにより、ひとり親家庭の自立を支援し、生活の安定と児童の健全な育成を図る必要があるため。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

(児童扶養手当)

受付状況

新規:69件

転入届:12件

額改定:16件

喪失届:21件

(ひとり親家庭医療)

交付状況

新規:親60件 児童97件

喪失:親29件 児童47件

今後の方向性

継続

子育て支援課

★令和2年度取組内容★

取組内容

母子・父子自立支援員による相談支援を実施し、コロナ禍での様々な経済的支援に関する情報提供を行った。また、安定した収入を得るための資格取得に関する給付金による経済的な支援などを実施した。

R2年度実績等

貸付相談:117件

評価理由・課題・改善点

給付金・貸付相談ともに増加し、その支援を実施した。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

正職員も研修会に参加する等、ひとり親家庭への支援業務についての知識の向上に努め、複雑化する貸付業務のサポートに努めた。

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策4 ひとり親家庭等の自立支援の推進

取組施策4 ひとり親家庭等への生活支援

ひとり親家庭の親が安心して、子育てや家事と就労の両立ができ、子どもの健やかな育成が図れるよう、生活全般における支援体制の充実を図ります。
また、学習意欲の向上のための支援や居場所づくりなど、ひとり親家庭の子どもへの支援に取り組みます。

保育幼稚園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

教育・保育施設等の利用に関する基準において、ひとり親家庭については、利用調整時に加点をした。
また、施設の空き状況及び申し込み状況をホームページ等で公開し、利用の促進に努めた。

R2年度実績等

教育・保育施設等の利用に関する基準に基づき、施設の利用促進に努めた。

評価理由・課題・改善点

今後は、ホームページの充実や、詳細な保育施設情報の提供など、利用者にとって分かりやすい情報の発信に努めていく。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

教育・保育施設等の利用に関する基準において、ひとり親家庭については、利用調整時に加点をしている。
また、施設の空き状況及び申し込み状況をホームページ等で公開し、利用の促進に努めている。

今後の方向性

継続

子育て支援課

★令和2年度取組内容★

取組内容

放課後児童クラブ等の利用により、子育てや家事と就労の両立への支援を実施した。

R2年度実績等

放課後児童クラブ入会児童数：1,535人

評価理由・課題・改善点

ひとり親家庭のニーズに応じて放課後児童クラブを利用できるよう支援を行った。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

ひとり親家庭のニーズに応じて放課後児童クラブを利用できるよう努めている。

今後の方向性

継続

学校教育課

★令和2年度取組内容★

取組内容

教育委員会と連携し、ひとり親家庭の子どもも含めた学べる場の提供を実施した。

R2年度実績等

Kadoma塾利用人数：38人

評価理由・課題・改善点

教育委員会と連携し、ひとり親家庭の子どもも含めた学べる場の提供を実施した。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

教育委員会と連携しながら、学びの場の提供に努めている。

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策4 ひとり親家庭等の自立支援の推進

取組施策5 ひとり親家庭等を支えるまちづくり

ひとり親家庭等が社会を構成する一つの家族形態として尊重され、就職差別や住居制約等により人権侵害されることのないよう、あらゆる人権が尊重される社会の実現を目指すべく人権教育・啓発を進めます。

子育て支援課

★令和2年度取組内容★

取組内容

母子寡婦福祉会の周知啓発を実施するための場の提供等、ひとり親家庭に関する理解の促進を図った。また、子どもを虐待から守るため、関係機関と連携しながら、対応及び支援を実施した。児童虐待防止、早期発見支援に向けた啓発活動を行った。

R2年度実績等

母子寡婦福祉会 相談会：3回
児童虐待防止啓発活動：3回

評価理由・課題・改善点

庁舎内にて相談会を実施し、ひとり親家庭に関する周知啓発を実施した。児童虐待防止の啓発活動を行うことで、ひとり親家庭を含めた、子ども達の人権侵害のないまちづくりを図った。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月
の取組

今年度より、月1回の母子寡婦福祉会の相談会を実施している。ただし、4月・5月は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策5 子育てと仕事の両立のための環境整備

取組施策1 子育てと仕事の両立に向けた環境整備

産休・育休中の方への各種制度についての情報提供や、労働者が有給休暇、育児・介護休業など取得しやすく、誰もがワーク・ライフ・バランスを実現できる職場環境づくりに向けた啓発に努めます。また、就労等で子どもの保育を必要とする保護者を対象に教育・保育施設等の利用申請を受け付けるとともに、育児休業からの復帰が円滑となるよう、教育・保育施設等の利用調整時において加点を行います。

保育幼稚園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

教育・保育施設等の利用に関する基準において、看護・介護をしている者を含んでおり、また、利用希望日より1カ月以内に育児休業から復帰する者については、利用調整時に加点をしている。また園の空き状況及び申し込み状況をホームページ等で公開し、利用の促進に努めている。

R2年度実績等

教育・保育施設等の利用に関する基準に基づき、施設の利用促進に努めた。

評価理由・課題・改善点

今後は、ホームページの充実や、詳細な保育施設情報の提供など、利用者にとって分かりやすい情報の発信に努めていく。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

教育・保育施設等の利用に関する基準において、看護・介護をしている者を含んでおり、また、利用希望日より1カ月以内に育児休業から復帰する者については、利用調整時に加点をしている。また園の空き状況及び申し込み状況をホームページ等で公開し、利用の促進に努めている。

今後の方向性

継続

人権市民相談課

★令和2年度取組内容★

取組内容

職員及び市民を対象にワーク・ライフ・バランス啓発講座を開催したほか、再就職を考えている・就職経験がない・子育て中や子育てが一区切りついた・子育てによるブランクから再就職しようと考えている市在住の女性を対象にかどママ就活サポート講座を開催した。また、大阪府等、各関係機関から随時届く、子育てと就業の両立等に関する啓発チラシやリーフレットについて、女性サポートステーションのラックに配架した。

R2年度実績等

(ワーク・ライフ・バランス啓発講座)
参加人数：37人
(かどママ就活サポート講座)
参加人数：延べ38人

評価理由・課題・改善点

ワーク・ライフ・バランスを実現するには、幅広い年代に継続して啓発することが重要。昨年度に引き続いて講座を開催できており、参加者の年代も幅広い。かどママ就活サポート講座については、その後の聞き取りで、就職に繋がった参加者もいた。講座については、コロナ禍における開催方法を模索する必要がある。啓発方法については、SNSの活用等、時代の潮流に合った効果的な方法を調査研究する必要がある。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

ワーク・ライフ・バランス啓発講座について11月の開催に向けて調整を進めている。かどママ就活サポート講座について、10月・11月の開催に向けて調整を進めている。大阪府等、各関係機関から随時届く、子育てと就業の両立等に関する啓発チラシやリーフレットについて、女性サポートステーションのラックに配架している。

今後の方向性

継続：※かどママ就活サポート講座については令和元年度～3年度の3年間限定の事業としていたため令和3年度をもって廃止

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策5 子育てと仕事の両立のための環境整備

取組施策2 父親の育児参加の推進

かどまママパパ教室（妊婦教室）及びパパびよ（0歳から1歳半前後の赤ちゃんと父親の集い）等の取組において、父親の育児参加を促進し、妊娠や育児についての理解を促すとともに、父親の育児参加の大切さについて啓発に努めます。

子育て支援課

★令和2年度取組内容★

取組内容

父親の育児参加の促進を目的として、父親と子どもが参加する交流会を年1回以上を企画した。

R2年度実績等

実施回数：0回
※緊急事態宣言による閉室やプログラムの中止に伴い、実施できなかった。

評価理由・課題・改善点

緊急事態宣言による閉室やプログラムの中止により実施できなかった。
コロナ禍でも父親の育児参加促進が図れるよう手法を検討していく必要がある。

評価

C

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

現時点で実施なし。

今後の方向性

継続

健康増進課

★令和2年度取組内容★

取組内容

かどまママパパ教室にて、父親の妊婦や育児についての理解を促すとともに、父親の育児参加の大切さについて啓発に努める。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、平日のみの開催にした。

R2年度実績等

基本目標2・基本施策2・取組施策2かどまママパパ教室と同じ

評価理由・課題・改善点

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

基本目標2・基本施策2・取組施策2かどまママパパ教室と同じ

今後の方向性

継続

基本目標2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

基本施策5 子育てと仕事の両立のための環境整備

取組施策3 女性の再就職の支援

求職中の女性に対し、就労サポートとして就労相談やキャリアカウンセリングを実施するとともに、就労支援機関の情報提供や再就職セミナーの実施など女性の再就職の支援に努めます。

人権市民相談課

★令和2年度取組内容★

取組内容

女性サポートステーションにおいて、就労相談の実施や女性のキャリア形成やエンパワーメントを支えるため、WESSセミナーを毎月テーマを変えて開催した。また、再就職を考えている・就職経験がない・子育て中や子育てが一区切りついた・子育てによるブランクから再就職しようと考えている市在住の女性を対象にかどママ就活サポート講座を開催した。
さらに、厚生労働省等、各関係機関から随時届く、就労に関する啓発チラシやリーフレットについて、女性サポートステーションのラックに配架した。

R2年度実績等

(就労相談)
相談件数：142件
(WESSセミナー)
開催回数：9回(12回を予定していたが新型コロナウイルス感染症の影響により3回中止)
参加人数：延べ122人
(かどママ就活サポート講座)
参加人数：延べ38人

評価理由・課題・改善点

出産・子育て時期に女性の就業率が下がる中で、再就職を希望する女性を支援することは、その方のライフスタイルに合った多様な働き方の選択につながり、市がめざす姿「いきいきと男女がともに輝く男女共同参画都市」の実現に寄与している。
コロナ禍における相談の実施方法、セミナーの開催方法を模索する必要がある。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

就労相談について、継続して実施している。
WESSセミナーについて、新型コロナウイルス感染症の影響により中止が相次いだが、6月・7月のみ開催した。
かどママ就活サポート講座について、10月・11月の開催に向けて調整を進めている。
厚生労働省等、各関係機関から随時届く、就労に関する啓発チラシやリーフレットについて、女性サポートステーションのラックに配架している。

今後の方向性

継続：※かどママ就活サポート講座については令和元年度～3年度の3年間限定の事業としていたため令和3年度をもって廃止

基本目標3 子育て家庭を地域みんなで支える環境づくり

基本施策1 子どもの安全を地域で見守るまちづくり

取組施策1 犯罪を未然に防止するまちづくり

子どもたちを街頭犯罪から守るため、「門真市防犯対策アクションプラン改定版」に基づき防犯カメラの設置を進めるとともに、防犯灯の設置及びLED化を促進することにより、犯罪を抑止し、安全・安心なまちを目指していきます。

また、新小学校1年生に対し防犯ブザーを配付し、防犯意識の啓発に努めます。

危機管理課

★令和2年度取組内容★

取組内容

子どもたちを街頭犯罪から守るため、自治会の設置する防犯カメラに対する全額設置補助や市設置防犯カメラの増設とともに、防犯灯の電気料金の補助や防犯灯LED化の補助により整備を進めています。また、自治会、防犯支部等地域の団体が連携した街頭啓発運動、大阪府警の安まちメールの活用などにより、地域や子ども自身の防犯意識を高める。

R2年度実績等

防犯カメラ新規設置件数：30基
防犯灯LED化件数：151灯
防犯灯電気料金補助件数：13,824灯
夜間パトロール：各防犯支部が随時実施
歳末特別警戒：12月26日～12月30日
防犯キャンペーンについて3件予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。また、地域安全運動についても新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

評価理由・課題・改善点

防犯カメラについては、「門真市防犯対策アクションプラン」に基づき、平成30年度末までに市内に防犯カメラを300基設置するという目標が達成できた。しかし、地域や警察からさらに増設の要望があったため、「門真市防犯対策アクションプラン改定版」を策定し、令和元年度から3ヶ年で新たに100基の増設を行うという目標に向け、引き続き予算要求を行っていく。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

補助金交付
防犯灯LED設置補助交付 2,195,875円
防犯カメラのリース料金補助 6,792,497円
防犯灯電気料金補助金 3,951,494円

今後の方向性

継続

学校教育課

★令和2年度取組内容★

取組内容

新小学校1年生に対し防犯ブザーを配付した上で、全員に携行を勧め、登下校中の犯罪被害防止に対する意識向上に努めた。

R2年度実績等

市内の新小学校1年生全員に対し、防犯ブザーを配付した。
※大阪府民共済生活協同組合より寄贈

評価理由・課題・改善点

新小学校1年生に対し、防犯意識を啓発することができたため。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

新小学校1年生に対し防犯ブザーを配付し、防犯意識の啓発に努めた。

今後の方向性

継続

基本目標3 子育て家庭を地域 みんなで支える環境づくり

基本施策1 子どもの安全を地域で見守るまちづくり

取組施策2 子どもを犯罪等の被害から守るための地域活動の推進

青色防犯パトロールや警察官OBによる「スクールガードリーダー」の巡回、地域の方々の協力による「キッズサポーター」、「子ども110番の家」を推進することによる通学路における地域での子どもの見守りを実施し、登下校時の子どもの安全を確保するとともに、門真市防犯協議会による地域での夜間パトロールや啓発キャンペーン等の取組を促進することにより、防犯意識の高揚を図り、地域での子どもの見守りや犯罪の抑止・防止に努めます。

また、自治会等地域の団体が連携した街頭啓発運動、大阪府警の安まちメールの活用などにより、地域や子ども自身の防犯意識を高めるとともに、警察との連携を図ります。

教育総務課

★令和2年度取組内容★

取組内容

登下校時における「スクールガードリーダー」や「キッズサポーター」による子どもの見守りを実施した。

R2年度実績等

市内での声かけ事案等が16件発生し、関係者や地域と連携を図りながら、子どもの見守り体制の強化を図った。

評価理由・課題・改善点

不審者情報も多数報告される中、児童・生徒の犯罪被害防止のための取組の推進は必要であると考えます。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

「子ども110番」の家では、継続的に家庭に協力を得ることができている。「キッズサポーター」については、各校区で活動を積極的に実施している。

今後の方向性

縮小：子どもの安全見守りを目的とした事業が複数あり、それぞれの役割を整理し、必要に応じて統合することが求められていることから令和3年度においては「スクールガードリーダー」を一時休止した。

危機管理課

★令和2年度取組内容★

取組内容

地域における住民等の地域団体に対し、青色防犯パトロールに係る費用の一部を補助することにより、犯罪の抑止・防止に努める。

R2年度実績等

青色防犯パトロール事業補助金 77,891円

評価理由・課題・改善点

本年度より当課にて開始した事業であったので、対象者が申請等スムーズに行えなかったことから、次年度以降、機を捉え、周知等検討していく。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

2月に青色防犯パトロール事業補助金を交付するため、補助金の交付に向けて準備を進めている。

今後の方向性

継続

基本目標3 子育て家庭を地域みんなで支える環境づくり

基本施策1 子どもの安全を地域で見守るまちづくり

取組施策2 子どもを犯罪等の被害から守るための地域活動の推進

地域政策課

★令和2年度取組内容★

取組内容

中学校区単位で設立された「地域会議」において、地域の防犯力の向上や犯罪発生の軽減を図る。

R2年度実績等

- ・第三中学校区の地域会議の取組として、地域における防犯意識の向上を図るため、速見小学校及び門真小学校の一年生を対象に、防犯の啓発に関するグッズの配布を行うとともに、市民にも防犯グッズを配布した。
- ・第五中学校区の地域会議の取組として、四宮・北巢本・東小学校区単位で、暗い場所や危険個所を中心に夜間パトロールを実施した。
- ・第七中学校区の地域会議の取組としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

評価理由・課題・改善点

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業の中止がある中、夜間パトロール及び防犯グッズによる啓発活動を実施できたことは評価できる。
今後は感染症拡大防止策を講じ、事業を実施していく。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月
の取組

緊急事態宣言等のため事業を中止

今後の方向性

継続

基本目標3 子育て家庭を地域みんなで支える環境づくり

基本施策2 児童虐待への対応

取組施策1 子育て家庭への総合的な相談・訪問支援

すべての児童が健全に育つことができるよう、家庭児童相談センターにおいて、18歳未満の子どものいる家庭におけるあらゆる問題について、家庭やその他からの相談に応じ、関係機関等と連携の上、適切な支援等の提供を行います。

また、養育支援が特に必要と判断された家庭を対象に、養育支援訪問員の派遣等により助言指導などを行い、適切な養育環境の確保に努めます。

子育て支援課

★令和2年度取組内容★

取組内容

コロナ禍の中、18歳未満の子どものいる家庭のあらゆる相談に応じ、関係機関と連携の上、生活援助等の必要に応じた支援につなげた。また、児童虐待の早期発見・支援を実施した。面接や電話、訪問による継続的な支援を実施することで、児童虐待の再発防止に努めた。

R2年度実績等

家庭児童相談件数：1,255件
児童虐待相談件数：1,086件

評価理由・課題・改善点

コロナ禍で相談件数の増加がみられたが、関係機関と連携しながら、状況に応じた対応を実施することができた。平成30年度より設置した子ども家庭総合支援拠点の役割を認識し、子育て世代包括支援センターとの連携を含めた、支援体制の整備が必要である。

評価

B

★令和3年度取組内容★

4月～8月 の取組

18歳未満の子どものいる家庭のあらゆる相談に対応。
電話や面接、訪問による支援を実施する。また子ども家庭総合支援拠点の整備に向けた検討を、現在重ねている。
家庭児童相談件数：886件
児童虐待相談件数：784件

今後の方向性

継続

基本目標3 子育て家庭を地域みんなで支える環境づくり

基本施策2 児童虐待への対応

取組施策2 虐待の対応・連携体制の整備

地域や関係機関等と連携し、児童虐待の早期の発見・対応に努めます。児童虐待の予防と早期発見・早期援助のための連携を深めるため、子どもに関わる関係機関等や団体を構成員とする門真市要保護児童連絡調整会議を設置し、スーパーバイザーの助言のもと、要保護児童等に対する対応方針の検討や進捗管理を行います。

また、平成30（2018）年4月より門真市子ども総合支援拠点を新たに開設し、多様化する事案に対応すべく、虐待対応専門員を配置し、児童虐待に関する周知・啓発等を行うことにより、さまざまな事例に的確に対応していけるよう連携強化を図ります。

子育て支援課

★令和2年度取組内容★

取組内容

児童虐待の早期発見・早期支援のため、子どもに関わる関係機関等や団体を構成員とする門真市要保護児童連絡調整会議を設置し、スーパーバイザーの助言のもと、要保護児童等に対する対応方針の検討や進捗管理を行うと共に、児童虐待に関する周知・啓発活動を実施した。

R2年度実績等

児童虐待相談件数：1,086件

評価理由・課題・改善点

年々増加する児童虐待相談等に対応するため、門真市要保護児童連絡調整会議実務者会議を年22回開催し、要保護児童等の情報共有及び対応方針並びに進捗管理を行う事で児童の健全育成に務めた。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

児童虐待通告に対応すると共に関係機関と連携しながら、継続した支援を実施。また、要保護児童連絡調整会議実務者会議を毎月実施し、児童虐待に関わる情報の共有及び、支援の検討等をおこなった。
実務者会議：7回

今後の方向性

継続

基本目標3 子育て家庭を地域みんなで支える環境づくり

基本施策2 児童虐待への対応

取組施策3 ドメスティック・バイオレンスの防止

保護者によるドメスティック・バイオレンス（DV）を目の当たりにするといった面前DVが、子どもへ及ぼす被害を防止するため、広報などのさまざまな機会を通じて、ドメスティック・バイオレンスの防止等に関する啓発活動に努めます。

人権市民相談課

★令和2年度取組内容★

取組内容

「女性のための相談」及び「人権相談」を実施するとともに、職員を対象にDV防止啓発講座を開催した。また、「女性に対する暴力をなくす運動」を令和2年11月12～25日に実施し、啓発ティッシュを庁内や市施設（40カ所）に配架し、市HPに啓発記事を掲載及び内閣府HPへの外部リンクや啓発ポスターの画像を記載した。さらに、内閣府等、各関係機関から届く相談ダイヤルのポスターの掲示や、カードやリーフレットの配架などをした。

R2年度実績等

（「女性のための相談」及び「人権相談」）
DVに関する相談件数：延べ241件
（内訳）女性のための相談：141件・人権相談：100件
（DV防止啓発講座）
参加人数：35人
（女性に対する暴力をなくす運動）
啓発ティッシュ配架個数：1,000個

評価理由・課題・改善点

DVの背景には、性別役割分担意識や社会的地位、経済力の格差等、社会的・構造的な問題があると考えられている。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるDV被害の深刻化も懸念されているため、DVの防止や被害者の支援には、継続して取り組むことが重要である。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

「女性のための相談」及び「人権相談」について継続して実施している。
DV防止啓発講座について11月の開催に向けて調整を進めている。
「女性に対する暴力をなくす運動」の内容について、企画・調整を進めている。

今後の方向性

継続

基本目標3 子育て家庭を地域みんなで支える環境づくり

基本施策3 地域で支える子育て支援

取組施策1 子育て家庭が暮らしやすい地域環境の整備

乳児を抱える保護者等が気軽におむつ替えや授乳等ができ、安心して赤ちゃんとの外出を楽しむことができるよう、市内に設置している「赤ちゃんの駅」の充実に努めるとともに、設置の促進に努めます。

子育て支援課

★令和2年度取組内容★

取組内容

赤ちゃんの駅の設置施設に対し、新型コロナウイルス感染症にかかる感染症対策の実施状況等の調査を実施するとともに、利用者の利便性の向上のため、インターネット上から赤ちゃんの駅設置施設を検索することができるサイト「赤ちゃんの駅マップ」（大阪府が運営）に位置情報を含め掲載した。

R2年度実績等

新規設置箇所数：0箇所
累計設置箇所数：42箇所

評価理由・課題・改善点

各施設の感染症対策実施状況を把握し、安心して利用してもらえる状況になっていることを確認できた。また、赤ちゃんの駅マップに情報掲載したことにより市民が設置場所を検索しやすくなった。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月
の取組

目印となる旗が劣化している施設について、旗の交換を実施した。

今後の方向性

継続

基本目標3 子育て家庭を地域みんなで支える環境づくり

基本施策3 地域で支える子育て支援

取組施策2 世代間交流や地域での交流活動の推進

子どもたちが地域の大人と交流することにより社会性を身につけ、地域に愛着がもてるよう、幼稚園・保育所・認定こども園・学校や地域子育て支援拠点等、身近な地域での高齢者をはじめさまざまな世代間交流を促進します。

また、地域会議や校区福祉委員会での「子育てサロン」の取組等、子育てに関する意見・情報の交換ができ、地域における育児の孤立化を防ぐ地域での交流活動を推進します。

地域政策課

★令和2年度取組内容★

取組内容

第三中学校区及び第五中学校区の地域会議の取り組みとして、子育て世代の親や子どもを対象に、校区内の自治会館等を活用し、地域における育児の孤立化等の地域課題の解決に向けて、手遊びや手作りおもちゃづくりを行う「子育てサロン」を定期的開催している。その他、親子を対象とした「人形劇」や「食育講座」等を行う。

R2年度実績等

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため事業の中止があるなか、第五中学校区の「地域会議」において、令和2年11月に弁天池公園にて、大型絵本などを親子で一緒に楽しめる「子育てサロン～みんなであそぼう」を実施した。

また、12月にはクリスマス会を実施した。

参加人数：大人12人 子ども12人

評価理由・課題・改善点

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため事業の中止がある中、感染症対策（新型コロナウイルス追跡名簿、検温及びアルコール消毒等）を参加者に行ったうえで「子育てサロン」を実施することができた。課題としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、感染症防止対策及び事業の見直しが必要と考える。事業の実施に向け市としても協力をしていく。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

緊急事態宣言等のため事業を中止

今後の方向性

継続

福祉政策課

★令和2年度取組内容★

取組内容

概ね小学校区を単位として設置されている15の校区福祉委員会による小地域ネットワーク活動の一環として子育てサロンを実施した。

0～3歳児とその親を対象に、自治会館などで子育て中の親と子が一緒に遊ぶ場を提供している。（音読、工作、ゲーム、シャボン玉の実験、ハロウィンの小物づくり、クリスマス会プレゼント、ツリーづくり寄せ植え、スライムづくりなど）

育児についての悩みや不安を抱えている親たちの情報交換の場になり、育児不安やストレス解消に繋げる。

また、友達づくりの場にもなる。

R2年度実績等

参加人数：70人 回数：9回

評価理由・課題・改善点

子ども達は地域の大人と交流することにより、安心感と地域への親しみをもっている。また、参加した大人も地域の子ども達と交流することで活動へ参加する活力となっている。活動を通じて校区福祉委員の活動の原動力となっている。新型コロナウイルス感染症の影響により活動が大幅に制限されているため、緊急事態宣言等が発令された場合等にも繋がりをなくさないための活動方法を検討する。

評価

B

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

子育てサロンにおいて、0～3歳児とその親を対象に、自治会館などで子育て中の親と子が一緒に遊ぶ場を提供している。（プリントで音読、プラバン作り、ゲーム、クイズ、シャボン玉の実験）

今後の方向性

継続

基本目標3 子育て家庭を地域みんなで支える環境づくり

基本施策3 地域で支える子育て支援

取組施策2 世代間交流や地域での交流活動の推進

学校教育課

★令和2年度取組内容★

取組内容

世代を超えた交流を深めることを目的とし、地域の高齢者との交流会や、園児・児童・生徒の交流事業を行った。

R2年度実績等

各校園における世代間交流行事
合計37回

評価理由・課題・改善点

新型コロナウイルス感染症が感染拡大する中ではあったが、年賀状での交流や農作業での交流等、感染対策をしながら実施可能な交流を行うことができていたため。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

各校園の行事等の取組の中で工夫を凝らし、世代間での交流を実施することができている。引き続き、地域とのつながりを大切に各校園での交流を進めていきたい。

今後の方向性

継続

保育幼稚園課

★令和2年度取組内容★

取組内容

地域のお年寄りによる昔遊びの伝承の行事を敬老の日の前後に開催するほか、運動会など園の行事へ招待している。また、市の老人福祉センター作品展に園児が参加するなどにより、身近な行事や取り組みを通して、園児と地域の高齢者との交流を図る方針であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、公立園から地域のお年寄りに年賀状を送付し、交流を図った。

R2年度実績等

公立園 1回

評価理由・課題・改善点

園により取り組みの回数に差があるので、園長会を通じて実績増加に向け各園の課題等を整理していく。
コロナ禍でもできる取り組みを考える。

評価

B

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

現時点で実施なし。

今後の方向性

継続

子育て支援課

★令和2年度取組内容★

取組内容

地域での世代間交流として、民生委員児童委員協議会によるクリスマス会や地域住民による音楽会を通して交流活動を推進した。

R2年度実績等

緊急事態宣言等による閉室やプログラムの中止により、実施できなかった。

評価理由・課題・改善点

緊急事態宣言等による閉室やプログラムの中止により実施できなかった。
引き続き、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら取組を進めていく必要がある。

評価

C

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

現時点で実施なし。

今後の方向性

継続

基本目標3 子育て家庭を地域みんなで支える環境づくり

基本施策3 地域で支える子育て支援

取組施策3 家庭や地域の教育力の向上

市民プラザ等における家庭教育に関する学習機会や情報の提供を行うとともに、地域住民や団体、企業、商店、福祉施設等が地域ぐるみで子どもの育ちや子育てに積極的にかかわり、支援する地域づくりを進めます。

また、家庭学習を推進するため、PTAと共同で作成した「門真市学びのススメ」を普及し、保護者や地域も含めた子どもの学習や育みを推進します。

学校教育課

★令和2年度取組内容★

取組内容

6月に小学1年生を対象に学校を通じて「門真市学びのススメ」を配布した。

R2年度実績等

各校の小学1年生に向けて「門真市学びのススメ」を配付し、家庭学習について啓発することができた。

評価理由・課題・改善点

各校の小学1年生に向けて「門真市学びのススメ」を配付し、家庭学習について啓発することができたため。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

4月当初に小学1年生を対象に学校を通じて「門真市学びのススメ」を配付した。

今後の方向性

継続

生涯学習課

★令和2年度取組内容★

取組内容

門真市地域学校協働本部に委託し、各中学校区において学校・地域・家庭の調整役を担う学校支援コーディネーターが中心となり、地域の力と学校のニーズをマッチングした、学習支援、花壇の整備、図書室の支援等の学校支援活動を行った。

R2年度実績等

学習支援、花壇の整備、読み聞かせ、各種研修、害虫駆除などを実施

評価理由・課題・改善点

新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止等を余儀なくされ、例年通りの活動が難しい中、コーディネーターを中心に、地域・学校・家庭を巻き込みながら事業が実施され、地域の教育力に向上に寄与した。これまでと同様にボランティアの担い手不足・ボランティアの高齢化などに加えて、今後も続くであろうコロナ禍において、いかに学校のニーズに合わせた支援ができるかが今後の課題である。学校支援活動のさらなる周知に努め、若い世代の人材発掘を行うとともに、コロナ禍でも実施可能な支援活動を行っていく。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月の取組

4月に第1回代表者会議を開催し、昨年度の報告及び本年度の事業について検討した。
6月に書面にて総会を実施した。

今後の方向性

継続

基本目標3 子育て家庭を地域みんなで支える環境づくり

基本施策3 地域で支える子育て支援

取組施策4 子育て支援NPO・ボランティア等の養成

子育て支援の仕事に関心を持つ人に対し、必要な知識や技能を習得するための「子育て支援員研修」を実施し、地域における子育て支援の担い手を養成するとともに、子どもに対する絵本の読み聞かせ等、子育てに関わるボランティアの養成を図ります。

こども政策課

★令和2年度取組内容★

取組内容

年度当初、昨年度と同様に子育て支援員研修（地域保育コース（地域型保育））の開催に向けて取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により開催の見通しが立たなくなり中止した。

R2年度実績等

なし

評価理由・課題・改善点

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は中止となったものの、実施を希望する問い合わせが複数あったことから、今後も感染症対策を行いながら実施していく。

評価

C

★令和3年度取組内容★

4月～8月
の取組

令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン研修が可能な府内市町村による合同実施により開催することとし、4月に本研修の参加募集を行った。

今後の方向性

継続

図書館

★令和2年度取組内容★

取組内容

子どもに対する絵本の読み聞かせなど、子育て全般に関わるさまざまなボランティアの養成を図るとともに、子ども・子育て支援新制度での各事業の担い手として、地域の育児経験の豊富な主婦等を対象とした「（仮称）子育て支援員」の活用も視野に入れ、地域における子育て支援の担い手の養成を図った。

R2年度実績等

大阪府立図書館出前講習会「子どもの読書活動支援 科学遊びと本の見せ方の工夫」
参加者数：18人

評価理由・課題・改善点

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ボランティア養成につながる講座等の開催、周知をするのが難しかったが、子どもに関わる学校司書等に向けた講習会を開催することができた。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月
の取組

大阪府立図書館主催の研修等の情報を、ボランティア団体や学校へ提供した。

今後の方向性

継続

基本目標3 子育て家庭を地域みんなで支える環境づくり

基本施策4 子どもの未来応援施策の推進

取組施策1 子どもを真ん中においたネットワークづくり

支援の必要な子どもがもれなく救われるよう、セーフティネットを強化するため、地域でこどもを見守り支援する「子どもの未来応援団員」を養成し、支援を要する子ども及び保護者の発見から支援の実施、見守りまでをトータルでサポートする体制を構築します。

こども政策課

★令和2年度取組内容★

取組内容

小中学校や子どもの未来応援団員等と連携し、気になる子どもの情報収集を行い、ケース会議で支援方法を検討した後に、アウトリーチ支援を行った。
合わせて、経済的に厳しい家庭には、協力事業者から提供された食料品等を提供するなどの支援を行った。

R2年度実績等

気になる子どもの新規ケース：60件
（平成29年10月からの累積件数227件）

評価理由・課題・改善点

新型コロナウイルス感染症の影響により、気になる子どもの発見が困難になると思われたが、小中学校や子どもの未来応援団員等と連携し、情報収集に取り組むことで新たなケースの発見につながった。
また、既存のケースに挙がっている子どもや家庭についても新型コロナウイルス感染症への対策をしたうえで訪問するなど、継続して状況確認を行った。

評価

A

★令和3年度取組内容★

4月～8月
の取組

引き続き、気になる子どもや家庭の確認や情報収集を行った。
また、イズミヤ門真店に開設した子どもLOBBYで、対応ケースのうち不登校児童に対する支援を開始した。

今後の方向性

継続

基本目標3 子育て家庭を地域みんなで支える環境づくり

基本施策4 子どもの未来応援施策の推進

取組施策2 地域で子どもを支える取組の支援

地域住民や地域活動団体に事業に関わってもらうことで、子どもへの関心を高め、「子ども食堂」等の支援活動等を活発化させ、子どもの健全育成を担う地域力の底上げを図るほか、地域の見守り拠点として連携を行います。

こども政策課

★令和2年度取組内容★

取組内容

様々な事業者と協力体制を築き、地域の見守り拠点となる子ども食堂、宿題カフェなどへ食材やお菓子を提供した他、一部の子ども食堂と気になる子どもに関する情報共有を随時行った。

R2年度実績等

企業等から寄贈された食材・食品を提供するなどの支援を実施した。

評価理由・課題・改善点

食材等を提供できる体制ではあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、子ども食堂や宿題カフェが休止していたため、食材等の提供が低迷した。

評価

B

★令和3年度取組内容★

4月～8月
の取組

子ども食堂や宿題カフェへ食材等の提供を行うことができるよう、様々な事業者との協力体制を築いた。

今後の方向性

継続